捃拾帖

明治三十七年二月伊勢山田神苑会農業館ヘ全写中
其全印刷帖類展覧ニ付其他往年所蒐集ノ分貼附終
一数枚ニ小印刷其他貼附

田中芳男記

A 00
6010

大日本相模國秦野町
發賣元鈴木只五郎

ハ秦堅
特撰ノ
品ナリ
ハ本品
良確
保証ス

葉煙草
証

良須煙墨
長崎玉泉堂製

神奈川縣中郡秦野町
酒井登太郎製

量目四拾匁
第貳號
相陽秦野町
二五
製造原
發賣元
鈴木只五郎

信用
要形
貴市

薄利
盛大
量[illegible]

山料理
甚五楼

神路山ハ五十鈴川ノ水源ヲ廻ハコト凡十丈五十丈
鈍石、海氣岩、屏風岩、赤岩、牛石、
大理石ノ巨岩ハ鍾石　高二丈周五丈
其ノ出處ノ望
大岡　高二丈九尺　同四尺
小岡　高一丈五尺周三尺

男爵田中芳男君遺愛
先代田中芳男所蔵書
昭和七年

A00-6010

B 61009

神路山ハ五十鈴川ノ水源ヲ廻ハヌル九十九五十年ア
鮑石、海前岩、屏風岩、床船石、牛石、
大理岩ノ巨岩ハ鎧石　高二丈周五丈
其ノ出巡ノ塁
大瀬　高二丈九尺　周四尺
小瀬　三尺五寸　周三尺

山料理　其一様

A00-6010
男爵田中美[illegible]寄贈
先代田中芳男[illegible]蔵書
昭和七年
B 61009

本品ハ秦野
産地特撰ノ
佳葉ナリ
弊店ハ本品
之精良確
實ヲ保証ス

秦野煙草
製造葉
組合証

葉煙草
長島玉泉堂製

神奈川県中郡秦野町
湧井栄吉製
量目四拾匁
第貳號
相陽秦野町
製造所
發賣元
二五
鈴木只五郎

信用
無形
資本

薄利
盛大
營業

第五内国参考館
オレゴン ビスケット

三號

刻煙草量目五拾匁定價拾錢

精製

麝香入煉おしろい下製 美人肌 一名煉リスリン

此煉製美人肌は從來世に有觸たる花筏の類とは違ひ多年の經驗に洋風の新劑を配合精製したるものなれば之を化粧下としては鉛毒を防ぎ白粉のノリ宜きは勿論色を白くしキメを細に艶を出し又ひゞあかぎれ、しもやけ等に用ひて不思議なる特効あるが故は彼の恐るべき黑死病を豫防するには最も適當の良品なれば世の衛生家修飾家は男女老幼に拘らず一度御試用の上御愛顧の程を偏に願ふ

發賣元 中川南陽館

第四回內國勸業博覽會 褒狀受領

商標 箕乃戸

大日本伊勢國度會郡
宇治山田町大字豐川町
諸鑵詰海產漬物製造所
正木權兵衛壐

一伊勢灣產小魚ヲ以テ製出ス
一滊車滊船中ノ食用ニ妙ナリ
一衛生ニ無害有効
一洋等ノ副食ニ妙ナリ
一暑中腐敗又ハ味ヒノ替ルヿナシ
一土產トシテ進呈品ニ妙ナリ
一茶菓及間食ニ代用ス

伊勢の海磯の小魚もわたす海の神の貢の寶なりけり

製造元 伊勢桑名 伊藤茂平

特約店 仝南魚町 鍵治商店

明治三十七年二月十四日 [illegible]君ノ詠

日に照らも霧に失せたり春の風

蜂蜜梅

御菓子

不老園製品

HUROYENSHITEN.NAGOYA.TACHIBANACHIO.

御菓子司

名古屋橘町

不老園支舗

農商務省第貳五壹八號
專賣特許
明光蠟燭
製造元
桑名 倍井製蠟商會

登録商標
巳艾元祖
近江國 巳艾ハ
伊吹山 精造仕り
七年製巳艾 五百壮
東京田所町 本家 近江屋半助
山田宮後町 弘所 阿竹逸年

三里八日灸	うんこう日
朔日 左九ツ 右八ツ	正 未 七 酉
二日 左廿ワ 右廿ワ	二 戌 八 申
三日 左十ヲ 右十ヲ	三 辰 九 亥
四日 左十二 右十ヲ	四 寅 十 子
五日 左九ツ 右十ヲ	五 午 十一 丑
六日 左九ツ 右九ツ	六 巳 十二 卯
七日 左九ツ 右八ツ	
八日 左八ツ 右八ツ	

萬病感應丸
最上 懷炉丸灰
正產湯

御饅頭

紅梅焼
山口宮後町
梅月堂製

御藥菓子

伊勢國津市伊豫町
和洋菓子司
養老軒

山本園全茶舗封

明治 年 月

無色釜製

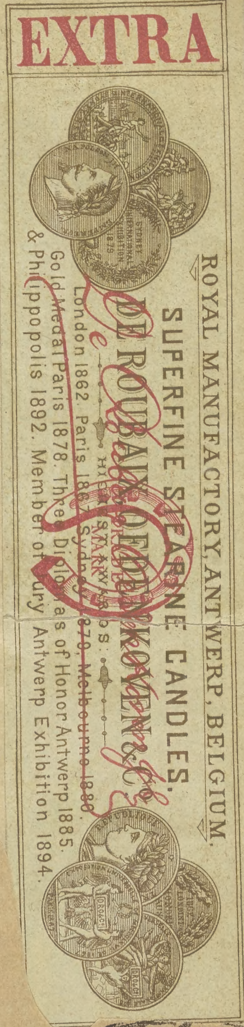
姫路縣前
三階苑木
受取之印

御料理
伊勢
與可樓
山田

第五回內國勸業博覽會褒狀受領
三重縣製造品評會有功賞銅牌受領
利休饅頭
伊勢宇治中之切町
本舖 藤屋謹製

小田原町通 幸壱
京御菓子製
集榮堂

上品 川上水筆



小田原特産珍菓柚餅歴傳謹

抑モ柚餅ノ歴傳ハ今ヲ距ル數百年前弊家ノ宗祖ガ舊小田原藩主
上菓子ニシテ一般ニハ販賣セザリキ然ルニ一新ノ際ヨリ自由販
意ヲ加ヘ販賣致候處忽チ内外諸君ノ御高評ヲ蒙リ年ニ月ニ盛業
ズ且内國勸業博覽會ヘ出品致候處公明ナル御審査ニヨリ毎回
店ノ柚餅ニ類似セル粗製品ヲ販賣スルモノアリ然レドモ類似粗製品ニテハ其味ヒ
ク保ツコカタシ弊家特製柚餅ノ如キハ右ノ如キ歴傳ノ有ルモノナレバ幾年月永ク貯
ノ變ル憂ナキハ屢々内外諸君ヨリ御賞賛ヲ蒙ル所以ナリ尚又左ニ列記スルしそ巻梅
漬物類モ内國勸業博覽會ヨリ賞牌ヲ受領セリ然レドモ多クノ御諸君ノ内萬一粗製品ト
ドモハ實ニ容易ナラザル次第故ニ何卒ちんりうヲ篤ト御見認メノ上多少ニ限ラズ御購

第二回水産博覽會 褒狀 いかの鹽から
第二回水産博覽會 褒狀 かつを塩から
第九回水産聯合品評會 賞狀 いかの塩から
第九回水産聯合品評會 賞狀 かつを鹽から
第三回內國勸業博覽會 褒狀 柚子砂糖漬
第四回內國勸業博覽會 褒狀 柚餅
第五回內國勸業博覽會 賞牌 しそ巻梅ぼし
第五回內國勸業博覽會 賞牌 いかの鹽から
第五回內國勸業博覽會 賞牌 かつを塩から
第五回內國勸業博覽會 褒狀 柚餅
第五回內國勸業博覽會 褒狀 紫蘇びしほ

(名物畧目)

特製柚餅
砂糖漬類
柚子
牛房
生姜
佛手甘
竹の子
蓮根
唐瓜
塩辛類
いかの塩辛
かつをの塩辛
小田原漬類

しそ巻梅干
梅ひしは
しそひしは
からしひしは
甘露梅
甘露茄子
なら漬
味噌漬
南ばんしそ
ほとゝぎす巻
穂じそ煮
きやら蕗
南ばんやき

青
紫
ゆ
茄
し
櫻
鉄
櫻
金
佃
沙魚
海老
時雨蛤

小田原名物類折詰樽詰曲物詰定價目錄

品名	單位	定價	
特製柚餅	壹折ニ付	金拾錢 金拾五錢 金貳拾錢 金參拾錢 金五拾錢 金壹圓 金壹圓五拾錢 金貳圓	以上御好次第
しそまき梅干	壹曲ニ付	金五錢 金六錢 金八錢 金拾錢 金拾五錢 金貳拾錢 金廿五錢 金三拾錢 金四拾錢 金五拾錢 金七拾錢 金壹圓	以上御好次第
いかの鹽から かつをの塩辛	壹曲ニ付	金拾錢 金拾五錢 金貳拾錢 金參拾錢 金四拾錢 金五拾錢 金六拾錢 金七拾錢 金壹圓	以上御好次第
七色砂糖漬 小田原漬	壹折ニ付	金拾錢 金拾五錢 金貳拾錢 金參拾錢 金五拾錢 金壹圓 金壹圓五拾錢	以上御好次第
萬漬物	壹曲ニ付	金七錢 金拾錢 金拾五錢 金貳拾錢 金參拾錢	以上御好次第

一厘ニテモ掛引ハ一切不仕候間
求奉願候

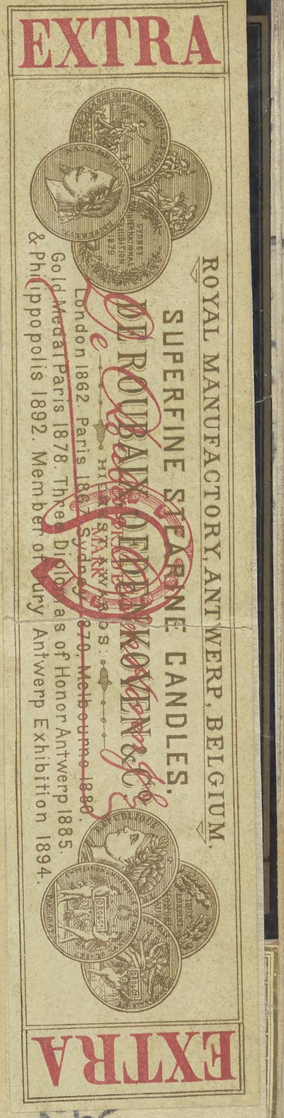
名物 ゆもち

相模
小田原町
本家
ちんりう

ちんりう

小田原名物

TO BE KEPT IN A DARK COOL PLACE
日かげの涼しき所に横におくべし



小田原特産珍菓柚餅歴傳謹告

抑モ柚餅ノ歴傳ハ今ヲ距ル數百年前弊家ノ宗祖ガ舊小田原藩主ヨリ製造方御用ヲ拜命ス其頃ハ献上菓子ニシテ一般ニハ販賣セザリキ然ルニ一新ノ際ヨリ自由販賣ヲ許サレ候爾來一層製造法ニ注意ヲ加ヘ販賣致候處忽チ内外諸君ノ御高評ヲ蒙リ年ニ月ニ盛業ニ相成リ候段弊店ノ榮譽是ニ過ギズ且内國勸業博覽會ヘ出品致候處公明ナル御審査ニヨリ毎回褒狀ヲ受領セリ然ルニ處此頃弊店ノ柚餅ニ類似セル粗製品ヲ販賣スルモノアリ然レ𪜈類似粗製品ニテハ其味ヒナキノミナラズ長ク保ツコカタシ弊家特製柚餅ノ如キハ右ノ如キ歴傳ノ有ルモノナレバ幾年月永ク貯フル𪜈其味ヒノ變ル憂ナキハ屢々内外諸君ヨリ御賞賛ヲ蒙ル所以ナリ尚又左ニ列記スルしそ巻梅干塩辛類其他漬物類モ内國勸業博覽會ヨリ賞牌ヲ受領セリ然レ𪜈多クノ御諸君ノ内萬一粗製品ト同視セラルヽ𪜈ハ實ニ容易ナラザル次第故ニ何卒ちんりうヲ篤ト御見認メノ上多少ニ限ラズ御購求奉願上候

第二回水産博覽會 褒狀 いかの鹽から
第二回水産博覽會 褒狀 かつを塩から
第九回水産聯合品評會 賞狀 いかの塩から
第九回水産聯合品評會 賞狀 かつを鹽から
第三回内國勸業博覽會 褒狀 柚子砂糖漬
第四回内國勸業博覽會 褒狀 柚餅
第五回内國勸業博覽會 賞牌 しそ巻梅ぼし
第五回内國勸業博覽會 賞牌 いかの鹽から
第五回内國勸業博覽會 賞牌 かつを塩から
第五回内國勸業博覽會 褒狀 柚餅
第五回内國勸業博覽會 褒狀 紫蘇びしほ

(名物畧目)

特製柚餅
砂糖漬類
柚子
牛房
生姜
佛手甘
竹の子
蓮根
唐瓜
塩辛類
いかの塩辛
かつをの塩辛
小田原漬類
しそ巻梅干
梅ひしほ
しそひしほ
からしひしほ
甘露梅
甘露茄子
なら漬
味噌漬
南ばんしそ
ほとゝぎす巻
穂しそ煮
きやら蕗
南ばんやき
青漬小梅
紫蘇巻小梅
ゆかり
茄子からしそ漬
しそ巻唐辛
櫻花漬
鉄加みそ
櫻みそ
金山寺みそ
佃煮類
沙魚
海老
時雨蛤

小田原名物類折詰樽詰曲物詰定價目錄

特製 柚餅 壹折ニ付
金拾錢
金拾五錢
金貳拾錢
金參拾錢
金五拾錢
金壹圓
金壹圓五拾錢
金貳圓
以上御好次第

しそまき 梅干 壹曲ニ付
金五錢
金六錢
金八錢
金拾錢
金拾五錢
金貳拾錢
金廿五錢
金三拾錢
金四拾錢
金五拾錢
金七拾錢
金壹圓
以上御好次第

いかの鹽から かつをの塩辛 壹曲ニ付
金拾錢
金拾五錢
金貳拾錢
金參拾錢
金四拾錢
金五拾錢
金六拾錢
金七拾錢
金壹圓
以上御好次第

七色砂糖漬 小田原漬 壹折ニ付
金拾錢
金拾五錢
金貳拾錢
金參拾錢
金五拾錢
金壹圓
金壹圓五拾錢
以上御好次第

萬漬物 壹曲ニ付
金七錢
金拾錢
金拾五錢
金貳拾錢
金參拾錢
以上御好次第

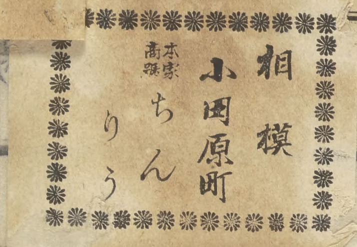
右記載之定價ヲ以テ販賣仕リ一厘ニテモ掛引ハ一切不仕候間御安心之上多少ニ限ラズ御購求奉願候

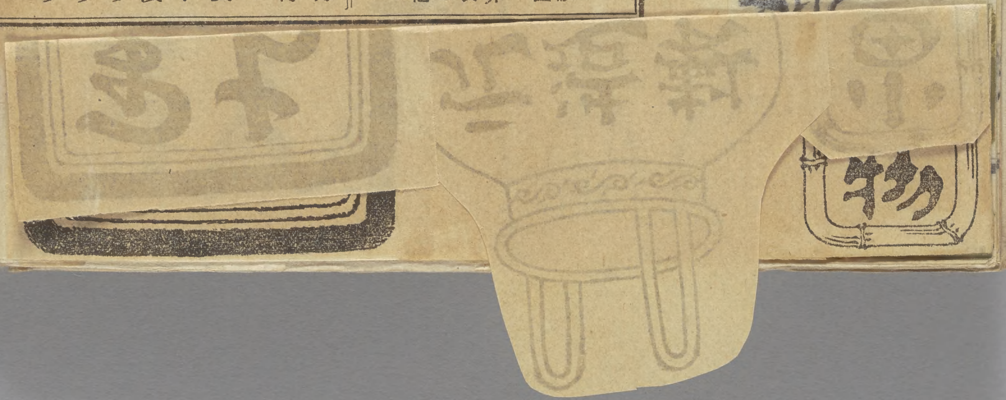
相模小田原町

小田原名物類製造本家

商號 ちんりう 敬白

(小田原ちんりう活版部印行)





(明治廿五年九月十六日遞信省認可)

大日本水產會報

東京市京橋區木挽町 大日本水產會事務所

東京市赤阪區溜池町壹番地

大日本山林會

電話番號新橋六十七番

明治三十〇年九月廿四日

東京市赤阪區溜池町

大日本農會

電話新橋六十七番

贈呈

本郷區金助町七二

田中芳男殿

東京西久保郵便區赤坂溜池町

大日本水產會

電話番号本局六十七番

東京上野公園內

東京學士會院

第五回內國勸業博覽會事務局

第五回內國勸業博覽會事務局出張所

本郷區金助町七十二番地

貴族院議員田中芳男殿

貴族院

神戸市奥平野村番外三百十五番屋敷
青木喜晴

兵庫川崎町
武岡豊太

東京市芝區琴平町二丁目十四番地
北海道協會

東京學士會院書記

横濱市中村町貳拾壹番地
横濱植木株式會社

〆

野村平七

〆

明治三十五年十二月十二日
岐阜市東部賀佐町三十七番戸
永澤小兵衛

〆

三重縣宇治山田町株式會社五二會館内
三重縣製茶造品品評會事務所

明治　年　月　日

大阪市西區江戸堀南通貳丁目壹番屋敷
松下彦兵衛商店

小
室町五丁目
御水飴
藤井喜三郎

進呈

遞信省認可
昆蟲世界
毎月一回發兌

神戸市
田中芳男殿

發行所
岐阜縣岐阜市京町
名和昆蟲研究所

第三種郵便物認可
昆蟲世界
毎月一回發兌

伊勢國宇治山田町
農業舘ニテ
田中芳男先生

岐阜
名和

發行所
岐阜縣岐阜市京町
名和昆蟲研究所

岐阜縣岐阜市京町
名和昆虫研究所

第廿七號

領收證

一金 [illegible]

右爲御茶料御惠投被成下難有領收仕候也

明治三十七年
二月十五日

第キノ號室

上様

名古屋停車場前
御旅館 志那忠支店
(電話特三五三)

右之通リ正ニ候也

明治三十七年
二月十八日

第菊號室

上様

名古屋停車場前
御旅館 志那忠支店
(電話特三五三)

明治卅五年三月十九日

静岡縣島田町
北河製品所

29

セイ

神苑会

山田宇治岩田町

田中芳男

佐藤

青柳

小包送票(甲)

差出人は此送票に郵便料に相當する郵便切手を貼附して差出すへし

番號	重量	摘要	郵便切手貼附欄
六四七號	七九・匁		
引受局	配達局		
	山田局		

郵便切手は可成稜の多きものを用ゆへし

(小郵第壹號)

郵便局の事項は此送票の郵便切手を檢査し消印し必要なる事項を記入したる上之を小包郵便物に貼附すへし

山田

(參宮)

第 號

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物區別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
神苑会 田中芳男		小包	二月廿二日	六四七號	十四		/	一六〇匁	池作

引受主任印 日附印 摘要

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すへし

小爲替金受領證書

口號丁

一金 壹圓參拾錢也

右小爲替金額領收ノ證トシテ本證書交付候也

振出日附印

記號番號
わほ四五九一七

遞信省

明治三十三年十一月印刷局製

別

御

セイ

神苑会

山田宇治山田町

田中芳男様

佐藤出

青柳

小包送票 (甲)

郵便切手貼附欄	摘要	重量	番號
		七九・匁	六四七號
		配達局	引受局
		山田局	

差出人は此送票に郵便料に相當する郵便切手を貼附して差出すへし

郵便切手は可成税額の多きものを用ゆへし

（小郵第壹號）

郵便局にては此送票の郵便切手を檢査し消印し必要の事項を記入したる上之を小包郵便物に貼附すへし

（參宮）

山田

第 ○ 號

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物區別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
神苑会 田中芳男	[illegible]	小包	二月廿五日	[illegible]號	十五銭	/		一百匁	他性

引受主任印

日附印

摘要

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すへし

別

御陣屋

褒狀

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物ノ別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
山田町 〆店 嘻修内 田中喜右衛門	高砂市 水谷助六	書留	二月廿	二一二號	十五	／		一三ヶ匁	高砂

引受主任印	日附印	摘要

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請

受取人出立後ニ付左記ノ宿所ヘ御回送被下度候也

大阪府西成郡傳法町 [illegible]

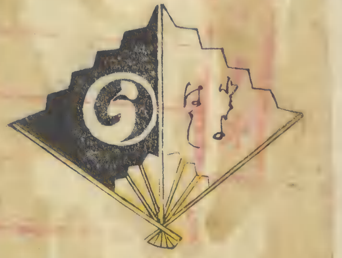
田中喜右衛門殿

有馬温泉場

兵衛事　風早喜右衛門

有馬郵便電信局御中

御料理



壹白

神山
田
長谷園
部一志町

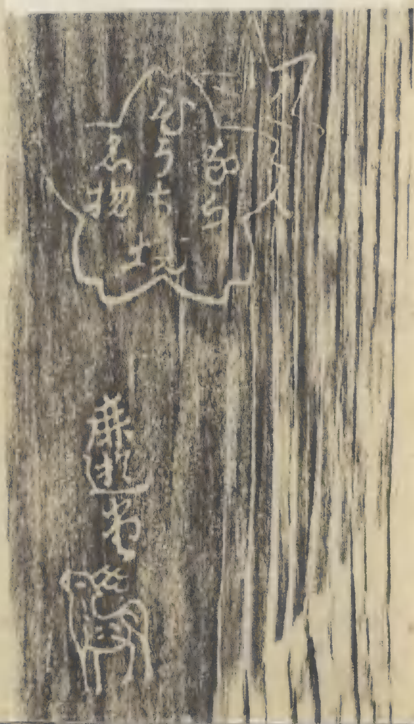
謹啓

過日ハ珍味御惠投奉拜謝候是ハ自園ノ菜菓ニシテ自家ノ烹煉ニ成リ更ニ風味無之候得共御笑草ニテニ進呈仕候呵々

明治三十七年十二月廿六日

満岡

田中様



父喜右衛門

菓絵

明治三十七年十二月廿八日 [illegible]

三十六年 [illegible]

[illegible]

金線商標

うたゝね

蚊やり香

好うたゝねを爐け
蚊帳いらずとねむるべし

代理店　山崎霜三郎製造

日本驅蟲品製造株式會社

御箋ノ場所ヘ配達スヘシ

山田郵便電信局

郵甲(第一號)

八方小楷

No. MANUFACTURED BY DOZ.
MERIYASU GŌSHI KAISHA
INS. NAGOYA JAPAN

書留 西久保 赤 502

小包送
號 重量 摘要

田中

一円十五

田中芳男

明治卅七年三月

送色 壹個
東京本郷区金助町七十三番地
田中芳男殿
金壹円也

三重縣度會郡宇治山田町
神苑會三重事務所

三重縣度會郡宇治山田町
神苑會支部
野田善三郎

東京市麹町區飯田町五丁目八番地
神苑會本部
有

明治卅五年九月十日

登録商標
白鷹
攝津國西宮町
辰馬悦蔵醸造
東京南新堀
説田彦助一手捌
取次宇治中之切町
中田酒店
三月一日詰

秋山四郎編

第一訂正
中學漢文讀本 巻之二

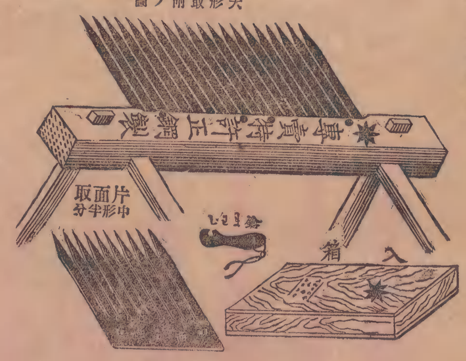
東京
金港堂書籍株式會社

農商務省第九一七號特許稲扱圖解
(拾五分ノ一)

登録商標
専賣特許稲扱發賣廣告

一特許稲扱は櫛齒狀の鋼板二枚を四つの鍃釘にて臺木に取附るものなり
一特許稲扱は舊式の稲扱の如く取附のゆるぎ又は齒並のゆがみなどの氣遣ひなし
一特許稲扱は右左又は裏表と取かへの自在なるが故に一挺にて都合四度新規の働きをなす
一特許稲扱の形式並に使用法は舊式稲扱と同様也
一特許稲扱の効能は舊式の稲扱に倍す
一特許稲扱は秋收濟の後は臺木より取外し油を引き箱に入れて仕舞置べしさすれば錆ることなし
一特許稲扱は勸農社長林遠里翁が實地試驗の上完全無比の改良稲扱たることを證明せらる
各地方に於て區域を定め特約一手專賣御望の方は當商會へ御引合ひ被下候はゞ規則に基き御相談可仕候

兩面平面大形取附ノ圖



製造發賣元 大阪市東區南農人町二丁目(松屋町東へ入)百三拾九番屋敷
稲扱商會

特許稲扱試驗成績證
商標
簡便省人力
耐久幾十年
發明有經驗
洪益子孫傳
勸農社長 林遠里

宇治山田町字大世古町
松田 登

宇治山田町字大世古町
松田登

特許稻扱試驗成績証

商標 ✵

簡便省人力
耐久幾十年
發明有經驗
洪益子孫傳

勸農社長 林遠里

登錄商標 ✵ 專賣特許稻扱發賣廣告

一特許稻扱は櫛歯状の鋼板二枚を四つの鎗釘にて臺木に取附るものなり

一特許稻扱は舊式の稻扱の如く取附のゆるぎ又は歯並のゆがみなどの氣遣ひなし

一特許稻扱は右左又は裏表と取かへの自在なるが故に一挺にて都合四度新規の働きをなす

一特許稻扱の形式並に使用法は舊式稻扱と同様也

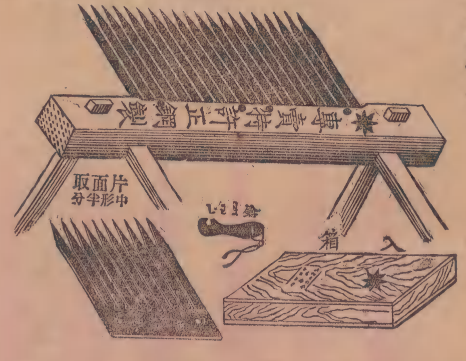
一特許稻扱の効能は舊式の稻扱に倍す

一特許稻扱は秋收濟の後は臺木より取外し油を引き箱に入れて仕舞置べしさすれば銹ることなし

一特許稻扱は勸農社長林遠里翁が實地試験の上完全無比の改良稻扱たることを證明せらる

各地方に於て區域を定め特約一手專賣御望の方は當商會へ御引合ひ被下候はゞ規則に基き御相談可仕候

兩平面大形取附ノ圖



製造發賣元 大阪市東區南農人町二丁目（松屋町東へ入）百三拾九番屋敷 稻扱商會

農商務省第九一〇七號特許稻扱圖解（拾五分ノ一）

秋山四郎編

訂正第一中學漢文讀本 巻之二

東京 金港堂書籍株式會社

登録商標 白鷹

攝津國西宮町 辰馬悦蔵醸造

東京南新堀 説田彦助一手捌

取次宇治中之切町 中田酒店

三月一日詰

有効壹等賞
內國紀念博覧會
南部七郡聯合品評會
有効賞受領

山田岡本町
百花園

弊舗祖先園助ヨリ代々乾柿ノ製造ヲ以テ本業トシ降ツテ天保九年先考右助ニ到リ菓子ノ創製ハ乾柿ノ甘味ニ法リ發明シタルモノナルヲ思ヒ乾柿ヲ菓子ニ應用センコトヲ考案シ終ニ一種ノ羊羹ヲ創製シ名ツケテ柿羹ト銘ス之レ即チ現今ニ於ケル柿羊羹ノ濫觴ニシテ其ノ製法實ニ我ガ特得ノ家傳ナリ明治十一年予其業ヲ繼グニ及ビ一意専心之ガ製造ノ事ニ黽メ古來ノ法ヲ準トシ學理ヲ參酌シテ原料乾柿製造ニ改良ヲ加ヘ乾燥ニ精意ヲ注ギ明治十六年ニ至リ實中ノ核ヲ拔キ去ルコトヲ案出シタリ明治廿三年四月畏クモ聖上　皇后兩陛下御西幸ニ際シ其筋ノ手ヲ經テ京都行宮ニ御駐輦中傳献ノ榮ヲ得ヨツテ從來枝柿ト唱ヘ來リシヲ此榮譽アル紀念ヲ萬代ニ傳ヘン爲メ乃チ枝柿ノ名ヲ更メテ御前ノ兩文字ヲ取リ御前柿ト命名シ爾來頗ル好評ヲ博シ創設二十五年紀念博覽會開設ニ際シ之レヲ出品セシニ大ニ江湖ノ賞讃ヲ博シ亞デ明治三十一年畏クモ亦東宮殿下ヘ奉献シ宮内省御買上ノ御用ヲ蒙リタリ爾來益々販路ヲ擴張シテ遂ニ今日ニ及ベリ而シテ世上ニ摸擬ノ製品續出スルニ至リシハ又以テ自家製品ノ江湖ニ需用多キヲ証明シテ餘リアリト信ズ

之レニ依テ内外各博覽會ニ於テ金銀賞牌數個ヲ受領シ又第五回勸業博覽會ニ於テハ出品中獨ニ二等賞銀牌ヲ受領セリ

槌谷乾柿製造場之圖

此柿ジャムは東洋の特産にして柿肉を以て精製せるものにて酷熱烈寒に過ふも滋分ハ勿論變味等の憂なく又本品の特性たる宿醉を醒し胃腑を開き痰を去り吐血を治する其功頗る顯著なりたゞに西洋の人大に稱賛し麵包其他の食品に加へ日々食すれば腹力を増進し果肉中古來醫藥として賞用せらるゝも他に其比を見ず弊堂爰に見る處あり横濱其他の居留地に販賣店を設け益歡迎を受くるに至れり内外の花客御愛味と希望する處なり

本舗主人述

銘酒小賣廣告

今般私店ニ於テ販賣致候銘酒白鷹ノ儀ハ攝津國西宮辰馬悅藏氏ノ釀造ニシテ其純良ナルコトハ既ニ帝國大學醫學部ニ於テ患者ノ滋養ニ用ヒラレシ葡萄酒ヲ廢シ全國ノ銘酒ヲ試驗セラレシニ此白鷹ヲ純良第一ト見認ラレ爾來御用ヲ蒙リ販賣店東京南新堀說田彥助ヨリ日々調進ス然ルニコノ白鷹ハ說田一家ニ於テ販賣スルノ外全國中ニ販賣店ヲ設ケズ殊ニ近隣ナル大坂神戶両市ノ問屋ヨリ屢取次販賣ヲ請求スルモ謝絕シテ設ケザルハ各地ノ酒肆名ヲ銘酒ニ藉リ各種ノ酒ヲ混合販賣スルノ惡弊アレバ終ニハ此白鷹ノ商標ヲ冒瀆セラレンコトヲ慮リ請求ニ應ゼザル純良ノ銘酒ナリ私儀ハ諸君御承知ノ通リ十年間同地ニ在勤セシニヨリ西宮ハ勿論灘目ハ御影新在家。石屋。東明。大石。味泥。吳田。魚崎。今津。鳴尾ヨリ伊丹ニ至ル各酒造家ニ於テ釀造スル銘酒ノ良否ハ親シク熟知候ニ付當地ノ儀ハ貴顯紳士及外國人ノ參拜モ年每ニ增加シ神都ニ宿泊セラルルモ只鮮魚ノ佳肴アルノミニシテ其飲用酒ニ至テハ菊櫻其他各種ノ正宗或ハ白鹿。白鶴。澤ノ鶴。砂灘。杉ノ井又ハ知多釀造酒ノ外純良ノ銘酒コレナキヲ甚遺憾ニ存シ神都來賓ノ待遇ヲ十分ナラシメント今般釀造元ニ事情ヲ議リ取次販賣ノ承諾ヲ得テ同家釀造ノ白鷹及褒紋正宗ノ二酒ニ限リ特約販賣相始候間良否ハ一應御試ノ上全ク廣告ニ僞リナク思召サレ候ハヾ多少ニ限ラズ御用仰付ラレ度伏テ奉希候

明治卅六年三月

宇治中之切町

中田正朔酒店

但シ弊店ニ於テ四合二合一合及一升ノ瓶詰ニ致シ詰込ミ月日ヲ記シ差上申ベク尤現金ノ外懸賣一切致サズ候

宇治 中田酒店封

登錄商標

白鷹

攝津國西宮町 辰馬悅藏釀造

東京南新堀 說田彥助一手捌

取次 宇治中之切町 中田酒店

三月五日詰

醫士 西尾正

中田正朔

伊勢國度會郡宇治山田町大字中之切町二十七番屋敷

三重縣宇治山田町 神苑會農業館

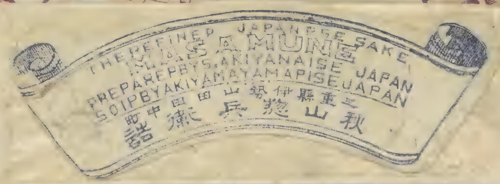
田中芳男

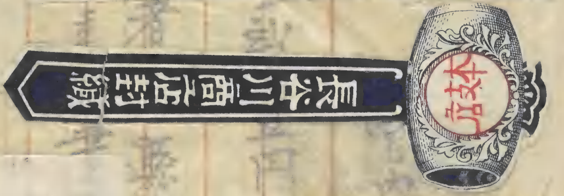
御饅頭

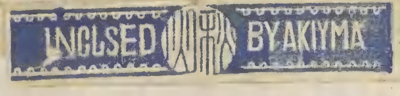
御菓子所 山田今市場 橘屋製

銘酒 旭日

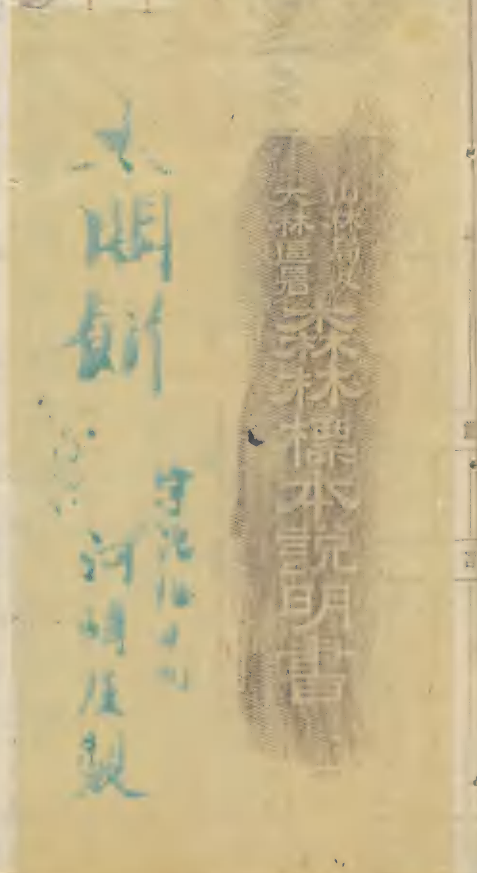
北勢桑名 大塚釀

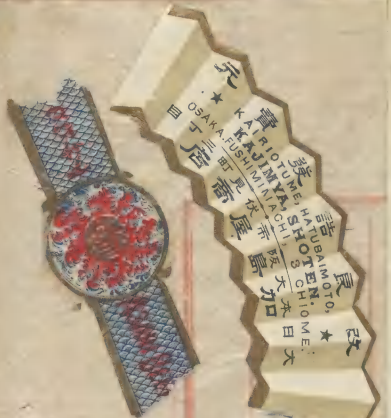


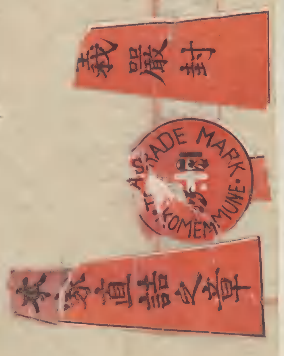


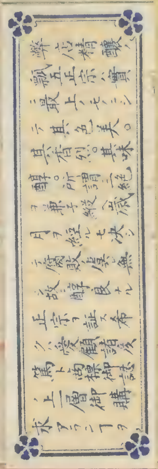


神都名勝誌ノ表紙ノ模様









GIFU MEI…
岐阜名産
元祖 栗羊羹
KURIYOKAN
御菓子調進所

花あられ稟告

世ノ進歩ニ伴フテ飲食物ニ於テモ其ノ嗜好ノ益々復雜ニ赴キ單純ナル供給ヲ以テシテハ到底充分ニ顧客ノ滿足ヲ得ルヿ難カルベシ弊店製菓塲ニ於テ今回製出セシ新菓「花あられ」ハ其香味淡泊能ク何人ノ嗜好ニモ適スベク若シ濕リタル時ニ於テ是レヲ乾燥セバ毫モ其香味ヲ變ズルヿナク以テ如何ナル長日月ヲモ貯藏スルヿヲ得ベシ從來此ノ類ノ製品往々見ル所ナレモ多クハ原料ヲ撰ムノ全カラザル粗鄙ニ流レ濕メリタルヲ乾カストキハ其味ヲ變ジ又用ニ適セズ原料ノ注意精撰ナルハ弊店ノ自負スル所ニシテ熟練職工ノ新工風ヲ以テ製造シタルモノナレバ其味又形狀ノ優雅ナル雅俗ノ席ニ用ヒラルベク「ビール」ノ口取トシテ尤モ妙ナリ然シテ其價亦甚廉ナルヲ以テ糧食用トシテ輕便ニ通人ノ進物用トシテ甚適當ノ品ナリ冀クハ試用ノ上益々御高評アランヿヲ

花あられ

鑵詰	
丸鑵	五號
仝	四號
仝	三號
仝	二號
仝	一號

電話 (特)四二〇番

販賣所 名古屋市榮町二十九番戸三十番戸 日出軒本店

分工所 仝市南鍛治屋町十五番地百四四番戸 日出軒製菓塲

(淺草橋前通原町文堂印行)

取調候處難相知ニ付一先持歸

但

十月廿五日木 高岡郵便電信局 便第六區集配人

郵便電信局 日附印

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物種別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
			月 日	號				匁	

引受主任印	日附印	摘要

郵便物受領證

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すへし

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物種別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
				號				匁	

引受主任印	日附印	摘要

郵便物受領證

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すへし

HINODEKEN・NAGOYA・SAKAEMACHI

陸海軍御用 宮内省御用
御菓子調進所
TRADE MARK
日出軒
名古屋郵便電信局前

小包送票(甲)

番號	重量	表記金額	摘要	郵便切手貼附欄
號	匁			

引受局 局
配達局 局

差出人は此送票に郵便料に相當する郵便切手を貼附して差出すへし

郵便切手は可成金額の多きものを用ゆへし

郵便局にては此送票の事項を記入したる上之を小包郵便物に貼附す

郵便切手を檢查し消印し必要

小鐵第壹號

褒状
倭漢諸流筆墨
撰製各流硯
有馬湯山街
川上藤兵衛

GIFU MEISAN
岐阜名產
元祖
栗羊羹
KURIYOKAN
御菓子調進所
岐阜驛一丁東
安二樓製

商標 登録
TRADE MARK
HANA ARARE
花あられ
SAKAEMACHI
MANUFACTURED BY
HINODEKEN
NAGOYA JAPAN
名古屋市
日出軒製

宜酒宜茶

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物種類	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名

取調候

但

十月

倭漢諸流筆墨

農商務省農務局技手
船津傳次平君發明

農家必要 新發明木甲車（しんはつめいもつかうぐるま） 定價金壹圓

抑々農家必用の器具にして堆肥等を運搬するに使用する在來の木甲と稱するものは常に二人の手を費さゞれば使用することを得ざるのみならず其運搬する量も極めて少なきを以て農家よ不便を與ふることと少なからず當本部此れを憂ふること久し然るに今般農商務省技手船津君の發明にかゝる圖の如き木甲車と稱するものを田中芳男君閣下の照會に依り製造發賣の認知を得普く各農家の便益を與へんとす願くば左に記す處を御一覽の上御講求の程願上候

一 在來の「モウコウ」に比すれば人夫は一人にて自由に使用することを得

一 車に依て回轉するが故に勞力を省く事大なり

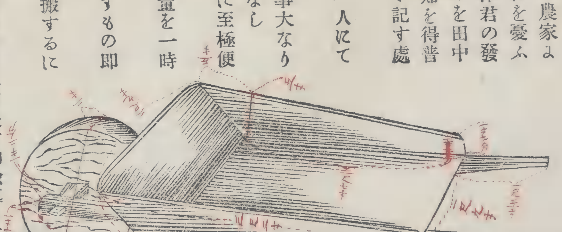
一 肥料の細末を運搬するも漏れ出る憂なし

一 堤防家屋の築造に土砂利を運搬するに至極便利なり

一 堆肥は在來の木甲に比すれば三倍の量を一時に一人にて運搬することを得

一 只に肥料のみに限らず持運ぶに勞力を費すもの即米俵等の運搬によろし

一 山野に出づるに農具其他穀菜類を運搬するに最良器なり



各府縣下共ニ便利ノ爲メ大販賣所及取次所該器擴張方御諭導ヲ乞フ且ツ販賣方望ミノ諸君へ割引定價ヲ以テ發賣候間澤山御註文ヲ願升

・附テ諸器械繪圖面御入用ノ方ハ郵券二錢御投與アレ

改良 農具蠶器各種 製造發賣元

內國農具改良組本部

東京市淺草區田町二丁目十七番地

（淺草藏前通好文堂印行）

大阪市東區・小山英三郎・安土町二丁目

御誂印手拭 印袢天 商
其他染物御好ニ隨ヒ特別
廉價ヲ以テ調進仕候

京都村井兄弟商會卷煙草製造所

NAME OF ARTICLE. 品名	
EXHIBITOR. 出品人	
MANUFACTURER. 製造人	
PLACE OF ORIGIN. 産地	
PRICE. PER 代價	

樹産晒蠟販賣所 竹三

BLEACHED VEGETABLE WAX

TRADE ★ MARK

SOLD BY
CHIKUSAN
OSAKA JAPAN

日本大阪高麗橋五丁目

三風八

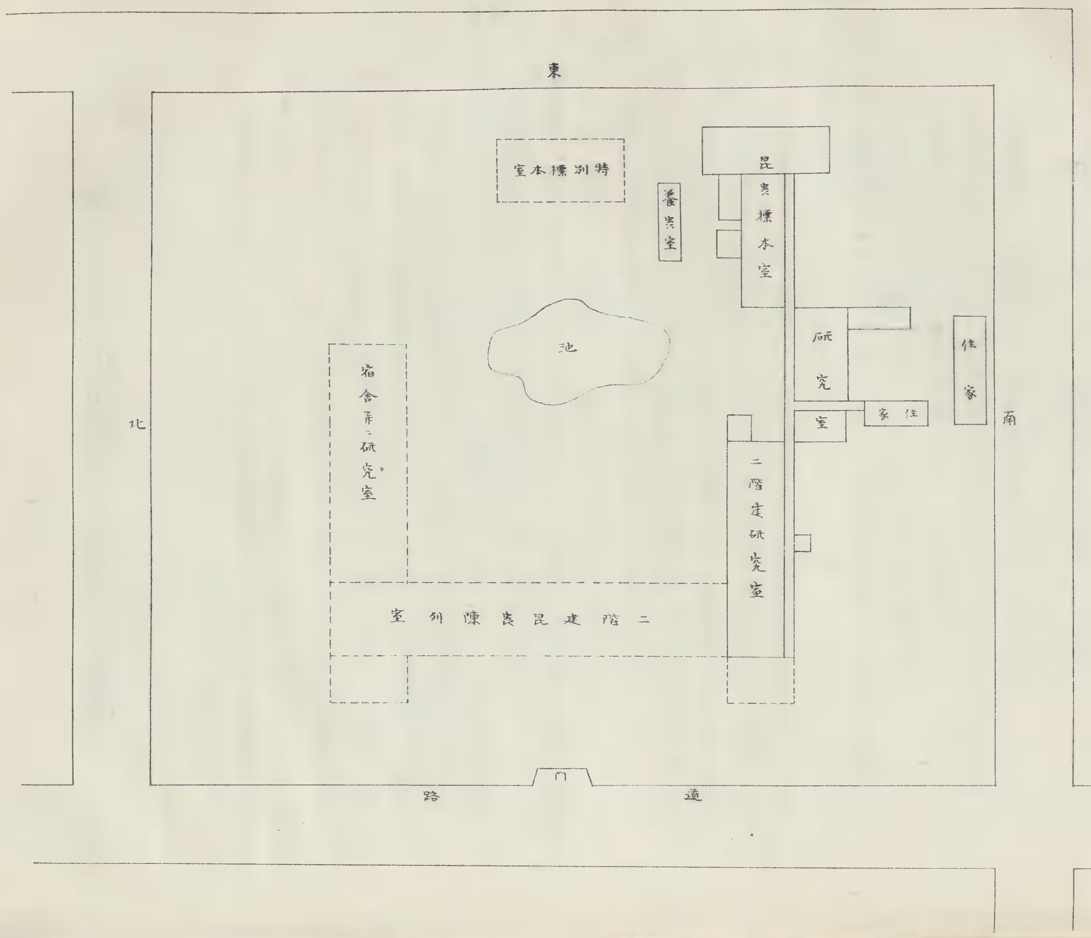
專賣特許第二百三十七號
御菓子司
明治卅七年三月十八日
京都市鍋師通[illegible]

太田小三郎
伊勢國度會郡
宇治山田町

發行所 大日本菓子協會
京都市上京區今出川通大宮東入元伊佐町四十五番戸

大阪市東區両替町壹丁目四六
喫茶會事務所

岐阜市金華山麓公園地内
名和昆蟲研究所移轉地略圖（六百分ノ一）
点線ノ分ハ漸次建設ノ事



●名和昆蟲研究所 擴張寄附金品募集主意書

害蟲の年々各種の作物に加害し、收穫を減少せしむるの莫大にして其價格實に數千萬圓を下らざるは、何人も疑はざる處なり。さればにや近年稍々世人の注目する處となり、害蟲驅防の聲年一年と高まるにも係はらず、害蟲軍は隱見出沒巧に蕃殖蔓延し、却て種類の增加を來す思ひあらしむるは、科學研究の然らしむる所とは云へ、是等害蟲軍を撲滅する能はざるは實に遺憾とする所なり。抑も害蟲驅防の事たる意外に困難の業にして單純なる考を以て驅除の効を奏せんとするは、宛も敵の情勢を搜らずして戰ふと等しく敎養なき兵を以て訓練を積みたる兵に敵すると一般にして、昆蟲思想なくして驅防の完からんことを希ふも、到底能ふべからざるや明白の事なり。是れ當所が微力を忘れ、十數年以來研究に餘念なき所以にして、昆蟲陳列館に、昆蟲揭示場に、談話會に、講習會に、其他幾多の方法により該思想の普及を圖るに汲々たるも、亦全く是が爲なり。而して世の趨勢と害蟲軍の刺戟とは、幾多農民の腦裡に印し、近來講習會の如き、會員の申込み回は一回と增加し、加ふるに特別研究生の如きも續々申込あり、現時の有樣にては、悉く是等の希望を容るゝ能はざるは誠に遺憾とする處にして、斯學普及上一大缺點と云はざるべからず。故に當所は從來是等研究者に滿足を與へん爲め特別標本室は勿論、敎室より宿舍等の設備をなし、極めて平民的の研究をなさんとする者には一層の便利を圖らんとの希望を抱けり。而して曩に當所に對する國庫補助の建議案を議會に通過するや、往々當所は已に補助金の恩典を受けしやに誤まらるゝ向もあれども、未だ釐毛だも是等の恩惠に浴せず、大方諸氏の厚き擁護により漸く今日に到りたるものにして、微力の當所未だ希望の十が一だも果さゞるに、愈々地を岐阜市公園内にトし來る四月以後に於て移轉せざるべからざるの機運に際會せり。此の機に當り移轉と共に益々擴張して漸次從來の計畫を遂行し斯學の爲め聊か貢獻する處あらんとす。然れども素より微力にして、有志諸君の擁護を仰ぐにあらざれば到底完成を期する能はざれば、大方の諸君、希くは當所の微意を諒とし、金品の多少に係らず御寄贈あらんことを希望に堪へざるなり。

明治三十七年三月

岐阜市京町
名和昆蟲研究所

大垣 西濃印刷株式會社印刷

JAPANESE-SAKE
SHINPO.

商標登録

尾州半田 榊原酒造場

日新又日新

進歩

SAKAKIBARA BREWED
HANDA OWARI JAPAN

商標 商標

尾州半田 榊原酒造場

日新又日新

進歩

内外品評會進歩賞
内國勧業博覧會有功賞
共進會銀牌受領

TRADE 登録商標 MARK

SEI-KWAI-GWAN
Acts directly on the Heart and the Stomach restoring the system to a healthy condition.
Also specially recommenced in case of emergency.
COMPOUNDED BY SEIDAIDO.
OSAKA JAPAN

登録商標

各人常備之良劑

清快丸（せいかいがん）

大阪市堂島蜆橋南詰
發行所 髙橋盛大堂藥局
局主 藥劑師 髙橋嵓吉

主治効能（こうのう）
●氣欝（きのふさぎ） ●頭痛（づつう）
●眩暈（めまひ） ●昏倒（さしくらみ）
●痰（たん） ●溜飮（りういん）
●食傷（しよくはうり） ●胃痛（ゐのいたみ）
●悪心（むかつき） ●嘔吐（えづき）
●食慾乏（しよくもすすまず） ●癪氣（しやくき）
●宿酔（ふつかゑひ） ●船車暈（ふねくるまのゑひ）
●腹痛（はらのいたみ） ●中暑寒（どてつあたり）
●水傷（みづあたり） ●下痢（くだりはら）

定價表
百五粒入金拾錢
二百廿粒入金二十錢
五百七十粒入金五十錢
千二百粒入金壹円

105 PILLS 10 SEN
百五粒入金拾錢

盛大堂藥局印

●養老の瀧　は源丞内か至孝に湧出せし靈泉の名の高く、湯は十丈五尺の懸崖絶壁より飛下し其水や淸冽にして風光殊に絶佳の勝地なり（大垣ゟ南三里）
●谷汲山　華嚴寺は西國三十三番の札所観世音にして靈驗いやちこに參詣の信男信女の絶ゆることなし（大垣ゟ北五里）

御菓子

美濃名産 本家
西口屋
菓子舗

御菓子

元祖萬國無比之精良品

Notice: when taking the oak-leaves brand kakiyokan, remove the lid, take off a piece of bark on the upper part, and then cut the cake into slices with the bamboo knife which is found in the vessel. The cake may be served out with the bamboo vessel for a dish.
M. Tsuchiya, the chief manufacturer, Tawara, Ogaki, Mino, Japan.

商標登録

元祖
柹羊羹
雅匠而適嗜好
學理應用
各博覧會品評會進歩賞有功賞意匠賞牌受領
美濃國特産
正本家 穂谷
柏先堂製
美濃大垣俵町

Kakiyōkan.
MANUFACTURED BY
TSUCHIYA.
MINO OGAKI JAPAN.
《大垣西濃印刷株式會社印行》

日露満韓地圖

發行所 伊勢新聞社

正價金拾五錢

宇治山田町立男子高等小學校体育會

元祖 春日火打焼
奈良市下三條五拾八番
月の家
奈良三條停車場構内
月の家支店

搬出証			
品名	賣價	出品人	
	金	縣 郡市 町村	

搬出証			
品名	賣價	出品人	
	金	縣 郡市 町村	利登慶治

搬出証			
品名	賣價	出品人	
	金	縣 郡市 町村	

田中芳男殿

謹啓 日露の戰局は漸く擴まり我海戰の連捷御同慶此事に御座候扨去る明治三十三年九月以來弊堂に於て發刊しつゝありし日本農商工新報は將に本月を以て第四十四號に達せんとし業に既に社會に信用を博しつゝありしが今回更に紙面に一大刷新を加へ來る五月十一日より其題號を『みやづ』と改め每月三回(一日十一日廿一日)と增刊致すべき事と之が準備も整頓したれば之が改題初號に掲載すべき貴名の祝辭又は祝電等何れか御投送相願度右は初刊御厚情の義も有之候へば御多忙中とは洞察仕候得共此段伏而希望仕候敬具
追而該祝辭又は祝電等は來る五月五日迄に弊堂へ到着致すべき樣御投送相願度萬一御多忙中の爲め御投送爲し被下難く候はゞ其旨御一報を煩し度候然る上は貴名を借り弊堂に於て畧文掲載仕候間不悪御承知置被下度此段申添候也

明治三十七年四月廿一日

丹後國宮津港
日本農商工新報發行所 廣榮堂主
澤田和平 謹白

登録商標
東京特産

東洋
入舎
盛造

入谷
誠確誠實
物品精良
主廉價旨
弘販賣仕
製造

專用商標
大日本大阪
IRITANI. & O.

洛西嵐山名産

嵐山名産品廣告

一陶器煎抹茶器類並に日用品
手ひねりもの珍ふしき品
いろ〳〵製造仕
貴需に應じ可申候

大本山由緒
一天龍寺納豆　一嵐山櫻の花漬並に名木細工物品々
一櫻木ステキ　一大堰川名産鮎のうるか
一大堰川奇石　一保津川名産花の鮎

弊店儀愛顧諸君之御引立を蒙り日に増し隆盛に進み候段奉深謝候就ては今般商業擴張仕御遠方へは滊車便又は小包郵便飛脚等の便を以て御注文に應じ可申候間多少に拘はらず御注文被成下度候尚又嵐山御來遊の節必らず御立寄りあらん事を偏に奉希上候敬白

洛西嵯峨天龍寺前一丁東北側
登録商號 天龍寺納豆
大西太右衛門

●外にまぎらわしき店あり何卒登録商號に御注意を乞ふ

●天龍寺門前南側に支店あり

石油使用 文明厨爐 無烟無臭

本器の特色

マッチ一本にて点火すれば直に强熱を發し無煙無臭一点の塵なきは天下一品にして且つ取扱の輕便火加減の自由なる高尚優美にして安全堅固なる又座敷二階にて使用せられ下女を要せずタキツケいらず急速の場合時間を計りて違はず飯を炊き湯をわかし魚肉を煮炙るなど即座に辨ずるが如きは誠に便利重寶文明の利器にして日々の御手助け御徳用唯賞讃の外なきは弊店の大に誇稱する所に御座候

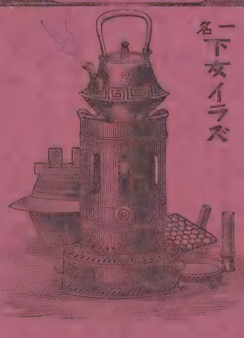
石油消費高
一時間六勺

一舛の水沸騰時間 十分間 石油代壹厘
一舛の飯炊上時間 廿分間 石油代貳厘

●下等の石油にても無煙無臭責任を以て保証す

専賣特許
東京乾燥合資會社製

一名下女イラズ



二號形には附屬釜掛あり普通の二升釜をかけ飯を炊く爐代用には釜掛を除き五徳を用ゆ

◎便利重寶の一例

不意に來客ありたるときすぐマッチにて点火し置けば挨拶の尚了らざる内湯は沸騰し直に茶を饗する事を得又客と談話しつゝある間に煮炊きをなし了りて餘裕あるゆゑ客おしらいの上にも缺くべからざる炊具なり又病人等ありて夜中に湯茶を求められ或は牛乳を温むる等にマッチ一本にて事足る故少しもヨダレ事なし本器は火力を一定になすを得る故時間を計りて誤らず官省學校會社等へ出勤の御内の如き時間を限らるゝ處には缺くべからざる炊具なり

手間少き入自炊者官省學校等へ出勤の御内には最も適す必ず一度御試用を希ふ

本器は炊事用の外醫家煎劑ストーブの代用又工業學校染色科生徒用として多數を使用せらる其他應用頗る多し

定價表

	並製	眞鍮製	銅製	ニッケル製
一號形 重量五百四十目 高サ一尺 直徑六寸	貳圓七拾錢	參圓貳拾錢	參圓八拾錢	參圓八拾錢
二號形 重量九百目 高サ一尺一寸 直徑七寸	四圓	四圓八拾錢	五圓五拾錢	六圓五拾錢

●一號形用芯一本一錢五厘　●二號形用芯一本參錢

關西一手販賣元
大阪本町通渡邊筋角
島田支店
電話東一三三六番

かぜひき れうまちす 大妙藥

免許

安知歇貎林

製藥所 伊勢國宇治山田町田中々世古 岩下大作

注意

拙店製藥のアンチヘプリンはまぜものなき眞性のアンチヘプリンに候故藥品と効驗とを御試め驗りて他にアンチヘプリンと稱せる藥品と御比較被下度候

定價表

廿五日分入 金拾錢
百日分入 金廿錢

定價六包入金五錢

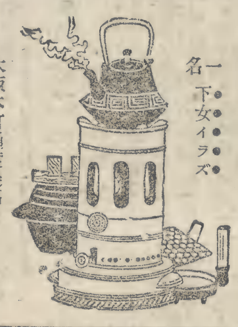
手間ナキ人自炊者ニ等最モ適ス

◉專賣特許 文明廚爐

マッチ一本にて點火すれば直に强熱を發し無煙無臭一點の塵なく飯湯魚肉を煮炙る等卽座に辨ず誠に文明の利器實賛の外なし

一升の水沸騰 十分間 石油代一厘
一升の飯炊上 廿分間 石油代二厘
(詳細書は御申越次第送呈す)

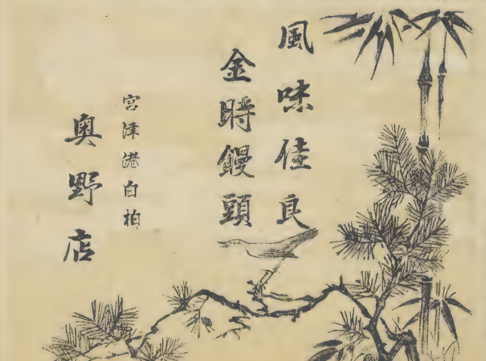
一名 下女イラズ



大坂本町通渡邊筋角
關西一手販賣元 島田支店
電話東一三三六番

特約店
京都市四條通高倉角 一井硝子店
神戸元町通一丁目 齊木商店
名古屋鐵砲町 岡谷南店
岡山市下ノ町 武田商會
廣島市堺町一丁目 中川恭平
下之關觀音崎町 青木支店

優美安全無煙無臭座敷ニ用ラル



嵐山

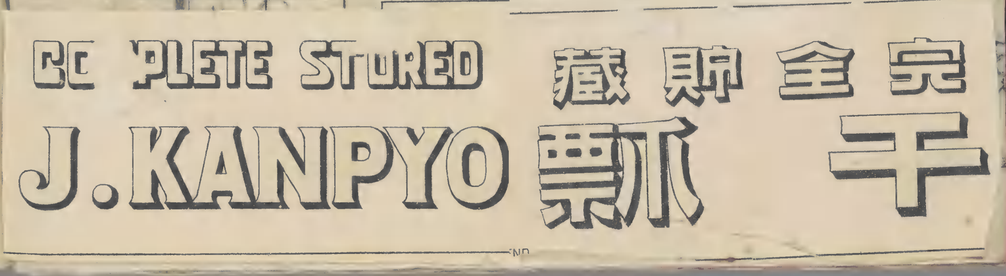
名物 だんご

THE-KANPIYO.
PRODUCTS.SHIMOTSUKE
NIPPON

野州名產
干瓢
下野干瓢鑵詰商會

商標
野州名產
干瓢
下野干瓢誌
永保其味
栃木縣農會長 溝部惟幾 印
賞揚
海軍軍醫大監 矢野義徵 印
製造發賣 下野國河内郡横川
下野干瓢鑵詰商會
野州名產干瓢ハ其質淡白味ヒ佳美消化シ易クシテ滋養ノ食品ナリ
干瓢ハ日常ノ副食物ニシテ又高等ノ料理ニ適ス故ニ需用ノ道甚ダ廣ク進物トシテ最モ高尚ニ且經濟上徳用ノ良品ナリ殊ニ患者産婦ニハ必要闕クベカラザルノ食品ナリ
貯藏保險干瓢ハ精品ヲ撰ミ貯藏及賣買方ノ輕便ニシテ完全ナル方法ヲ案出シ調製シタル物ナルニヨリ腐敗變味ノ患ヒナク需用者ハ其多少ニ應シ便宜ニ購入シ何時ニテモ料理ニ供ス可シ
保險付干瓢ニシテ代價ハ却テ普通品ヨリ安價ナリ大家賛辭並説明需用者心得等封入アリ
明治三十四年一月 編者識
販賣所
栃木縣宇都宮市
同河内郡雀ノ宮

下野名產
下野名產
下野名產
干瓢
貯藏
完全
下野干瓢鑵詰商會


CO PLETE STURED
完全貯藏
J.KANPYO
干瓢

野州乾瓢製造貯藏及販賣方法改良要旨

●干瓢は下野特有の名産にして全く獨特の物産なり他二三縣下に於て干瓢なるものありと雖製造拙劣に風味亦佳ならす且産額極めて少量なり◯抑野州干瓢は産出頗る多く廣く全國の需用に應し日常の副食物として或は高等の料理に適し其味ひ淡白甘香其質消化し易くして而も滋養の食品なり故に需用の追長に廣く殊に患者産婦には必要欠くへからさるの食料なり

●元來干瓢なるものは夏期作物にして炎暑の候太陽の火熱により干燥製造するものなるにより降雨勝の時に遭遇せは製造貯藏共甚た困難なる者なり故に一旦製造したるものと雖も空氣濕潤なる氣候中は乾燥貯藏とも周到の注意保護を欠く時は忽ち黴を發し品位甘味を損傷すると少なからす◯加るに近來農家は却て粗製濫造に流れ商家も亦之れか矯正に力めす荷造の如きは從來のこも包なるを以て賣買運輸の際已に黴を生し又需用者に於ても貯藏保護の方法を知らすして品位甘味を損傷すると往々之れあり野州乾瓢の名聲を失墜し生産需用の途路を喰留すると實に大なり

●今回之れか改良を計り賣買の便宜と貯藏完全の方法とを考案し原品を精製し乾燥を完全にし最精密なる三防完全紙を以て包裝し 百目 二百目 五百目 一貫目の四種に分ちて發賣す◯故に損傷變味の虞なく又大小需用家の便利を得殊に進物として最も高尚に且經濟上徳用の良品なり

●包裝は防濕防虫防腐の三防完全紙なるを以て貯藏久しきに耐へ數年間を經るも品質風味等も損傷すると無し◯代價の如きは賣買荷造運搬其他の手數日數を經る其間腐敗損傷等の損耗なきを以て却て普通品より安價なり

需用者注意

●需用者ハ何時にても開包して需用に充て得ると雖も殘余あるときは[illegible]

●干瓢の色澤ハ[illegible]

明治三十七年[illegible]月廿日發

田中芳男殿

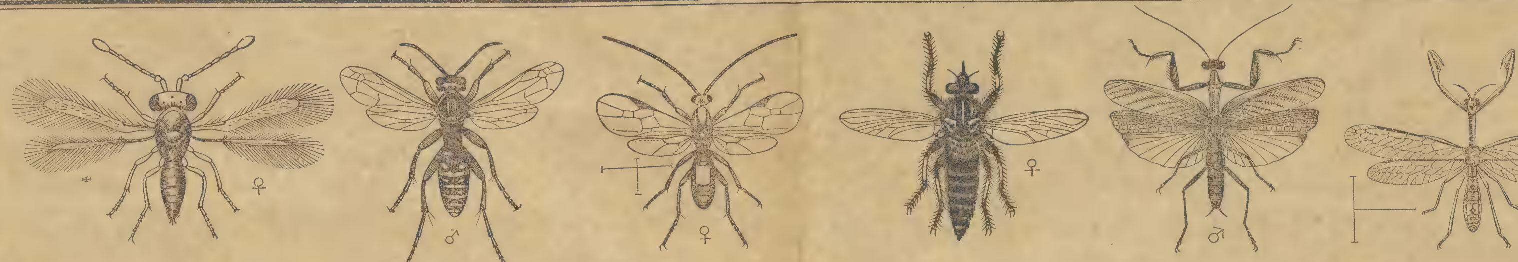
日本農商工新報發行所
丹後宮津港
廣榮堂
電信略號（コエ）

●廣榮堂店舗ハ東西ニ工場ハ別ニアリ ●西店ハ土地三百坪以上ヲ有シ圖書館ヲ設ク
●西店ハ 諸紙類 ◎和漢書籍 ◎新聞雜誌 活版印刷一般適用諸表簿様式出版
◎改訂增補税務至要 ◎酒造税法類集
◎戸籍法諸届文例 ◎漁業法狩獵法附屬法令
◎丹後國里程實測地圖 ◎天の橋立の圖
◎橋立みやげ ◎橋立名歌百首
◎小學校用新辭典 ◎當用日記 ◎懷中日記
専賣所
出版所
●東店ハ 各國賣藥◎學校用具◎雜貨硝子板度量衡 金庫 カン／＼ 販賣所

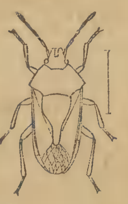
竹器商
大安商店
大阪東區唐物町
[illegible]筋東へ入南側

發明意匠品
製作發賣元
大阪市北區曾根崎中貳丁目
福永豐山堂
特電東三七八九番

第五回内國勸業博覽會褒狀
品評會銅牌受領
專賣特許六七五號
改良竈
南京竈
改良風呂
煉化瓦工事
左官工事
商標 人
大阪市東區内本町壹丁目
佐野德治郎
電話東參八八九番
詳細説明ノ印刷物御入用之方ハ御一報被下候ハヾ速ニ送附仕候也



害蟲驅除の方針



一、害蟲驅除を都合能く行ふには、第一昆蟲とは如何なものなりや、其大体を知ること最も緊要なり。

二、害蟲と益蟲の區別を明にし、害蟲を悪むと同時に益蟲を愛護すべし。

三、害蟲の習性經過を委しく了知するに隨ひ、愈々都合よく驅除を實行し得らるべし。

四、單獨驅除は比較的其効少く、共同驅除は比較的効多し。

五、害蟲驅除は一人前ある男子の務にあらず、宜しく婦人小兒の務とすべし。

六、害蟲驅除には簡單有効なる器械と、確實廉價なる藥品を撰むべし。

七、誘蛾燈用ふべし用ふべからず、注油法行ふべし行ふべからず。

八、天然驅除を貴び可成的人爲驅除を避くべし。

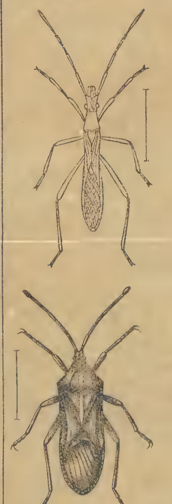
九、害蟲驅除は抑も末にして、平素豫防に注意するは最も必要の事柄とす。

十、豫防の一匁は、驅除の一貫匁に優ること、心得べし。

明治卅七年四月

岐阜市公園内

名和昆蟲研究所



商標

直

ペース

毛	厘	分	寸	寸法
		1		角
		8	5	永

和歌山市東長町十一丁目
日本元祖 製造販賣 直 中野字三郎

自五月十日 至五月十二日 毎日午前八時開館 午后五時閉館
但日限經過スレハ効力ヲ有セズ

農業館觀覽券

神宮奉献演武大會

伊東謹製

SPONGE CAKES
最上良製
カステイラ

大日本 東京
和洋御菓子
風月堂
神田小川町
伊東直吉
米津支店
CONFECTIONER

神宮禰宜 神部署長 置塩藤四郎

秋田富貴揩

煉羊羹

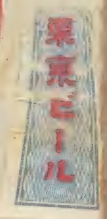
東京上野 廣小路 岡埜榮泉

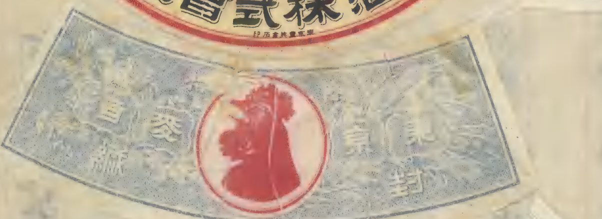
TRADE MARK
REGISTERED

羽衣

羽衣

羽衣





三重縣度會郡

宇治山田町役場

明治三十年　月　日

●神戸市の造林事業を見る　山林會幹

事長にして貴族院議員たる田中芳男男は當市の造林及び淨水々源池視察の爲め一昨日來神したり記者の一行と共に造林事業を見んとせしも時間の都合に依り豫定に遅るゝこと約二時間爲に途を再度筋に取り一行に追隨せんとせり途次楓樓等が列植せられたるを見たり再度山の大師寺を過り蟻ヶ原池に向はんとする際幸にして田中男及當市の林技手當縣廳の小橋技手等の一行に邂逅せしが刻は既に午後一時に垂々とし一行は池畔に於て撮影せる後なりき蟻ヶ原池畔の砂防工事は頗る美事なるものにして一方は市の經營に屬し他方は縣の經營に屬し巧に數千の楷段を造り之に松苗を列植せり而して當所の造林は土砂扞止と水源涵養を兼ねたるものなれば宛然繪畵を見るの想ひあらしむ記者は一覽後一行と共に山巓を傳うて逍々閑談す、其際田中男の語る所によれば男は數日前伊豫より丹波に入り本月三日來神これより大阪に抵り此處に本據を構へ此日更に來神したる次第にて或古文書に京都嵐山には自然生の梧桐ある旨傳説を記載せるものあり是れ今回西下の發端なり梧桐は素支那産のものなれば本邦に自然生ありとは大に訝しと考へ其實否を確めんが爲め嵐山の絶頂に登攀し一々精細に調査せしが毫も其形蹟なかりき故に去りて土地の識者に問へばニンジン木の葉梧桐に類似する所あるを以て或は名けしにはあらずやと云ふ兎に角嵐山には梧桐の自然生のものなきは明白となれりと倘男は明治三十年水産博覽會開會の際來神し當時建造着手中なりし奥平野淨水池を見て其の水源地の涵養すべき必要を述べしが其後三年を經て本多林學博士が神戸商業會議所に於ける演説の結果從來の面目を一新し更に今日の擧あるを見るに至れりと談彌よ佳境に進み光景彌よ開く遂に崎嶇たる山路を辿り淡路島を右に摩耶山を左に見て字五本松附近に至りしが此邊黑松赤松を列植し其の脚下大傾斜せる谿間には無數の檜杉の列植せるを見る少時休憩後羊腸たる小徑に沿うて諏訪山遊園の最高巓に達し金星臺にて一行と分袂せり今市の造林の經營を聞くに昨年度は引續き東葺合の境に及び西は奥平野境に至り奥は字猩々池に達す此面積百五十五町歩にして其列植せる苗の種類樹數を擧ぐれば赤松二十万五千本黑松二十七万本檜十五万本杉五万本櫟五万二千五百本ポプラ二万五千本欅一万五千本櫻四千本合計七十七万五千五百本なりと云ふ外に水蜜桃苗約四百本の列植せられしを見たり倘布引水源字中一里山再度裏池ヶ原奥本年度事業面積八千八百四十八坪にして其工種は積苗工、谷止石垣、根石垣石堰堤等にして工費は約八千圓により目下出來形歩合殆ど三分なりと云ふ此行深く感せしとは當局者が苦心の末列植せし樹木の苗を徹々拔去るものあること是なり數十年の後亭々たる大木となり得るに無情行人往々にして之れを拔取る實に太甚しき惡戯と云ふべからずや

壬寅

明治卅五年略暦

大　一　三　五　七　八　十　十二

小　二　四　六　九　十一

四方拜	一月一日
元始祭	一月三日
孝明天皇祭	一月三十日
紀元節	二月十一日
春季皇靈祭	三月廿一日
神武天皇祭	四月三日
秋季皇靈祭	九月廿四日
神嘗祭	十月十七日
天長節	十一月三日
新嘗祭	十一月廿三日

神武天皇即位紀元二千五百六十二年

庚申	二月六日　八月五日　四月七日　十月四日　六月六日　十二月三日
社日	三月廿六日　九月廿二日
ひがん	三月十八日　九月廿一日
甲子	二月十日　八月九日　四月十一日　十月八日　六月十日　十二月七日
土用	一月十八日　四月十八日　七月廿一日　十月廿一日
小かん	一月六日
大かん	一月廿一日
せつぶん	二月四日
はつ午	二月四日
八十八や	五月三日
入ばい	六月十二日
げし	六月廿二日
はんげしやう	七月三日
二百十日	九月二日
とうじ	十二月廿三日

日曜表

一月	五日　十二日　十九日　廿六日
二月	二日　九日　十六日　廿三日
三月	二日　九日　十六日　廿三日　卅日
四月	六日　十三日　廿日　廿七日
五月	四日　十一日　十八日　廿五日
六月	一日　八日　十五日　廿二日　廿九日
七月	六日　十三日　廿日　廿七日
八月	三日　十日　十七日　廿四日　卅一日
九月	七日　十四日　廿一日　廿八日
十月	五日　十二日　十九日　廿六日
十一月	二日　九日　十六日　廿三日　卅日
十二月	七日　十四日　廿一日　廿八日

明治三十四年十一月廿一日印刷　同年同月廿五日發行
編輯兼印刷發行人　日本橋區馬喰町三丁目四番地 [illegible]

一福知山ヨリ舞鶴ヘ九里宮津ヘ十三里道路平坦汽船アリ馬車アリ人力車アリ日本三景ノ一ナル天ノ橋立、元伊勢、山直ノ戸、成相觀音等皆此道筋ニアリ

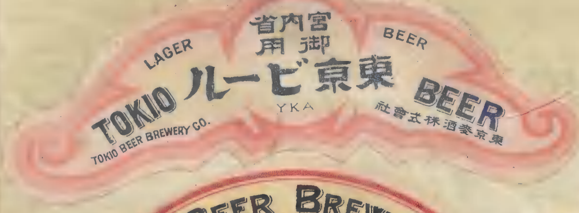
一有馬温泉ハ三田ヨリ三里余道路平坦人力車賃三十五錢

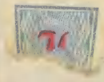
一大阪、神戸、三ノ宮ヨリ寶塚、生瀬、武田尾、三田ヘ土曜、日曜、祭日ハ二割引(官社線トモ)往復切符ヲ發賣致候通用三日間
但七月ヨリ九月迄夏期中ハ三田、寶塚ヘ毎日發賣致候

一旅客御携帯ノ自轉車ハ全線無賃輸送仕候

一商用、通勤又ハ通學ノタメ一定ノ區間往復セラルヽ方ノ御便利ヲ計リ大割引ノ定期乘車券、回數乘車券ヲ發賣致候

大阪盛文社印刷

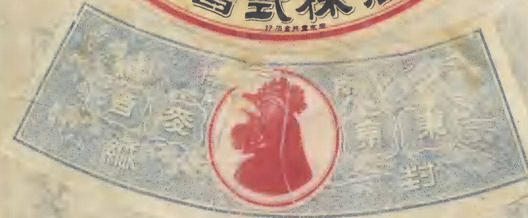


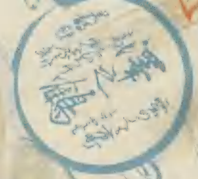


三重縣度會郡

宇治山田町役場

明治三十年　月　日





●神戸市の造林事業を見る　山林會…

事長にして貴族院議員たる田中芳男男は當市の…林及び滓水々源池觀察の爲め一昨日來神したる…者の一行と共に造林事業を見んとせしも時間の…合に依り豫定に遲るゝこと約二時間爲に途を…筋に取り一行に追隨せんとせり遂次楓樓等が…せられたるを見たり再度山の大師寺を過り鑑…池に向はんとする際幸にして田中男及當市…技手當縣廳の小橋技手等の一行に邂逅せしが…既に午後一時に垂々とし一行は池畔に於て撮…る後なりき鑑ヶ原池畔の砂防工事は頗る美事…ものにして一方は市の經營に屬し他方は縣の…に屬し巧に數千の階段を造り之に松苗を列植…而して當所の造林は土砂扞止と水源涵養を兼…るものなれば宛然繪畫を見るの想あらしむ記…一覽後一行と共に山巓を傳うて逐々快談す、…田中男の語る所によれば男は數日前伊勢より…に入り本月三日來神これより大阪に抵り此…據を構へ此日更に來神したる次第にて或古文…京都嵐山には自然生の梧桐ある旨傳說を記載せるものあり是れ今回西下の發端なり梧桐は素支那產のものなれば本邦に自然生ありとは大に訝しと考へ其實否を確めんが爲め嵐山の絕頂に登攀し一々精細に調査せしが毫も其形蹟なかりき故に去りて土地の識者に問へばニシシ木の葉梧桐に類似する所あるを以て或は名けしにはあらずやと云ふ兎に角嵐山には梧桐の自然生のものなきは明白とな…

…は積苗工、谷止石垣、根石垣石堰堤等にして工費は約八千圓により目下出來形步合殆ど三分なりと云ふ此行深く感せしとは當局者が苦心の末列植せし樹木の苗を散々荒去るものあること是なり數十年の後亭々たる大木となり得るに無情行人往々にして之れを拔取るは實に太甚しき惡戯と云ふべからずや

明治三十六年十一月改正

下り列車	
[illegible]	[illegible]

上り列車	
[illegible]	[illegible]

壬寅

明治卅五年略暦

大	一	三	五	七	八	十	十二
	三十一日	三十一日	三十一日	三十一日	三十一日	三十一日	卅一日

小	二	四	六	九	十一
	二十八日	三十日	三十日	三十日	三十日

神武天皇即位紀元二千五百六十二年

四方拜	一月一日
元始祭	一月三日
孝明天皇祭	一月三十日
紀元節	二月十一日
春季皇靈祭	三月廿一日
神武天皇祭	四月三日
秋季皇靈祭	九月廿四日
神嘗祭	十月十七日
天長節	十一月三日
新嘗祭	十一月廿三日

庚申	二月六日 八月五日 / 四月七日 十月四日 / 六月六日 十二月三日
社日	三月廿六日 九月廿二日
ひがん	三月十八日 九月廿一日
甲子	二月十日 八月九日 / 四月十一日 十月八日 / 六月十日 十二月七日
土用	一月十八日 / 四月十八日 / 七月廿一日 / 十月廿一日

小かん	一月六日
大かん	一月廿一日
せつぶん	二月四日
八十八や	五月三日
入ばい	六月十一日
はんげしやう	七月二日
二百十日	九月一日
とうじ	十二月廿三日

日曜表

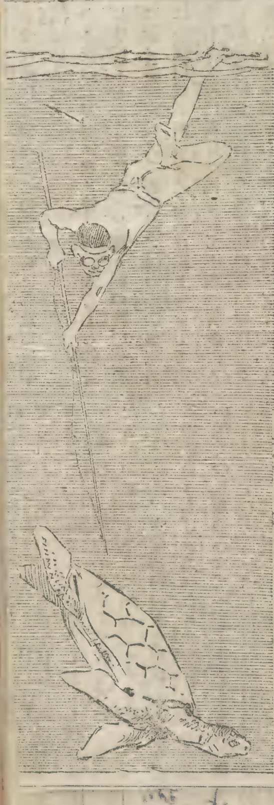
月	日曜
一月	五日 十二日 十九日 廿六日
二月	二日 九日 十六日 廿三日
三月	二日 九日 十六日 廿三日 卅日
四月	六日 十三日 廿日 廿七日
五月	四日 十一日 十八日 廿五日
六月	一日 八日 十五日 廿二日 廿九日
七月	六日 十三日 廿日 廿七日
八月	三日 十日 十七日 廿四日 卅一日
九月	七日 十四日 廿一日 廿八日
十月	五日 十二日 十九日 廿六日
十一月	二日 九日 十六日 廿三日 卅日
十二月	七日 十四日 廿一日 廿八日

明治三十四年十一月廿一日印刷 同年同月廿五日發行

○綠蠵龜の話

龜は萬歳の壽を保つと云はれて古來祝儀物の器具には多く此圖を模樣に施せる程なれば爰に水産講習所技師吉岡哲太郎氏の記述せるものを掲げ讀者の萬歳を祝せんとす

△形狀と性質 綠蠵龜は俗稱正覺坊と名けて多く小笠原附近の海中に生息し其大さ疊半疊敷以上に達するものあり體量は平均三十貫内外にして最大なるものは四十貫目餘に及ぶ背甲は帶綠色を普通とすれども時には赤褐色を帶び淡黄色に斑文を有するものあり腹甲は黄色にして斑文なく甲板は十三枚邊緣は二十五枚より成り雄龜は體軀稍小にして背殻少しく長く且著しく隆起し尾も亦長大なり雌龜は背殻縱横の長さ略ぼ同一にして尾は短し總て背殻は石灰質の厚き堅硬なる甲よりなり腹殻は薄き柔軟なる甲より成る又背腹兩甲の内部には灰綠色の脂肪を多量に包藏す性甚だ遲鈍優柔にして同族相食むが如きことなく時々水面に睡りて四肢を延し頭を水中に垂れ背甲を水面に露はして靜止す漁船之に近寄るも覺らざるなり交尾期は三四月にして其交尾するや雄龜は前肢を雌龜の肩端にかけ背上に乘る而して交尾時間は非常に長きものにして二週間乃至七八週間に亘るものあり産卵期は五六月にして夜半人靜りたる時海邊の砂地に匍上り前肢を以て徑約一尺五寸深さ約一二尺内外の大穴を穿ちて此に放卵し放卵終れば四肢を以て土砂を其上に蔽ひ腹部にて壓し附け勉めて埋卵の痕跡を止めず然れども其爬行せし通路に肢跡を印するを以て容易に其産卵所を發見するを得べし放卵は一回に限らず一度放卵して後時日を經過し孕卵成熟すれば又放卵す一回に放産する卵數亦た一定せずして七八十乃至百二三十個とす放卵後五十日乃至七十日を經れば卵は日熱に曝せられて自然に孵化し背殻の大さ縱徑一寸三分横徑一寸一分程の龜となる但し其甲暗黒色にして大龜の如く硬堅ならず且つ腹部には臍緒の痕跡を存すといふ斯くて孵化せるものは産穴より地上に匍出で直に海洋の方向を取て匍去るべし若し人ありて之を他の方面に向くるも再び海洋を指して匍行くなり左れど遠く游出するにはあらずして暫く沿海に生息するを常とす正覺坊の食物は海藻を主とすれども獨り兒龜は動物を食とするものゝ如し又酒類を嗜み死に垂とするものも容易に酒三四合を傾け灑し同時に活氣を復すといふ



△捕獲の方法 正覺坊を捕獲する方法に數種あり其普通なるものは左の如し

（一）種龜を使ふ法 雌龜を捕へ其前肢の一に二十尋程の丈夫なる綱を結び其一端に五貫目位の石を緊結して海岸を距る一、二町の、深さ廿尋以内の處に放ちて游泳せしむれば雄龜來て交尾すべし因て靜に船を乘りつけ鈎を雄龜の肩端に打込み船舷に引寄せて迅速に其前肢の一に綱を結着け船内へ引き擧ぐ而して此種龜は甲殻美麗にして光澤あり汚穢物の附着せざる所謂別品を可とすといふ

（二）交尾中捕獲法 海中に綠蠵龜の交尾するを認むれば其後方より船を進め先づ雌龜を捕へ次に雄龜を捕縛す總て交尾中彼等は微細の音響に驚かず殆ど感覺を失へるが如く又雌龜を捕ふるも雄龜は容易に逃逸せざるを以て捕獲最も容易なり

（三）上陸龜捕獲法 産卵期に際し夜半海濱に上陸するを覗ひ其臀部を抱き仰向けに覆して捕獲す

（四）浮游龜捕獲法 浮游せる龜を認むる時は櫓音を潜ませ水を亂さず靜に船を進めて近寄り長さ三間幅一寸程の銛を以て刺し捕獲す若し又水中に潜り入る時は熟達せる漁者は再び浮き上る場所を略ぼ推知して豫め船を其所に進め其浮上るを待て再び刺すなり又水泳に達せるものは百尋程の細綱を附せる銛を携へ水中に潜入して之を刺す斯くて船内にあるものは其綱の一端を取て龜の進退に伸びし綱を伸縮し其疲勞するを待て引寄せて捕獲す總て綠蠵龜は長く水中に止まるを得ず十五分乃至三十分毎に水面に浮上り呼吸するを要するを以て長く水中に逐ひ廻せば呼吸切迫して其游泳自在ならざるに至るべし又綠蠵龜捕獲の漁船はカヌーと稱する丸木形のものなり

△効用と滋養分 正覺坊は効用多きものにして全身不用の個處なし背甲よりはバラフ鼈甲を得腹甲よりは本鼈甲の内張となすべき材料を得べし又在小笠原島の外國人は此の脂肪をスープとなし珍重し又油を搾りて食用或は燈火用に供し往々稻田の驅蟲油に用ふる處もあり甲に熱湯を灑ぎ所謂鼈甲を剝脱したる跡の殻を煮ればゼラチン又は膠を得べし其殻滓は燐酸及び石灰質にして肥料に適し又骨炭となすを得べし又其肉は鮮紅色にして脂肪分なき牛肉の如く其味稍や淡薄なり左れば特種の滋養分ありと稱し珍重するものあれども他の獸肉と異なる所を見ず其肉の成分左の如し

水分	八〇、二三六二
蛋白質	一八、〇九九〇
脂肪分	〇、五二六四
灰分	一、一三八二
計	一〇〇、〇〇〇〇

之を他の肉類に比すれば左の如し

	水分	蛋白質	脂肪分	水化炭素	灰分
綠蠵龜肉	八〇、二	一八、二	〇、五	未定	一、二
牛肉	七六、七	二〇、〇	一、五	〇、六	一、二
小牛肉	七五、六	一九、四	二、九	〇、八	一、三
豚肉	七二、六	一九、九	六、二	〇、六	一、一
馬肉	七四、三	二一、六	二、五	〇、六	一、〇
鶏肉	七〇、八	二三、七	四、一	一、三	一、二

龜肉は脂肪所々に集合して一樣ならず專ら甲下に多く集まりあるを以て他の肉類に比すれば較や脂肪に欠く所あり故に之をスープとなせば臭氣なき淡薄なる上品のものを得べし又大和煮とせるものは其味特に佳美にして其罐詰をば多く同嶋より他へ輸出す又水煮とせるものもあり

腸及び食道管は其色白色其味佳良にして特に珍重せらる其成分は肉と大差なし

水分	八三、七五六八
蛋白質	一五、〇三六六
脂肪	〇、二四四九
灰分	〇、九五二四
計	一〇〇、〇〇〇〇

四肢の肉も他の肉と同じく食料に供すれども其味稍や劣れり血液は肺病其他虚弱のものは多く之を生のまゝ飮用す淡紅色にして眞に美麗のものなり少しく空氣に曝らし置けば忽ち凝結して紅羊羹の如く其成分は

水分	八八、三〇一八
蛋白質	一〇、八七八二
脂肪	〇、〇一四四
灰分	〇、八〇五六
計	一〇〇、〇〇〇〇

是れ食料の外に砂糖の澄清、魚仔の餌料、肥料等に使用するを得べし

右の如く龜は牛と同じく全身殆ど廢棄すべき所なく吾人に益する少なしとせず今其各部の割合を見るに概ね左の如し

全體重量卅貫三百八十匁の龜よりは

精肉	六貫三百匁
血液	三貫七百匁
甲	

記せるもの（六區青江玉乘小屋に、鳥日嶽の一組は深川八幡境内に於て、紫鷲の一組は淺草永住町に於て何れも花相撲

ねづみやメリヤス

佛國巴里萬國大博覽會總裁大統領ルーベイ氏
名譽銀牌受領

第四回內國勸業博覽會
總裁大勳位彰仁親王殿下授
有功三等賞受領

第五回內國勸業博覽會
總裁大勳位載仁親王殿下ヨリ
貳等賞銀牌受領

創設廿五年紀念博覽會
總裁從二位勳一等子爵榎本武揚殿
有功銅牌受領

京都製産物品評會
有功銅牌受領

總裁從四位勳三等高崎親章殿
全國貿易博覽會有功銀牌

第三回五二會全國品評會
總裁從三位勳四等前田正名殿
有功銀牌受領

佛蘭西國巴里
萬國大博覽會
名譽銀牌受領

內外大博覽會進步賞受領

全國意匠工藝博覽會
總裁從三位勳三等內海忠勝殿
貳等賞銀牌受領

總裁從三位勳四等前田正名殿
大日本染物競技會有功銀牌

日本美術共進會
總裁正三位公爵二條基弘殿
進步褒賞受領

名譽功勞賞數個受領

第二回五二會全國品評會
總裁從二位勳一等伯爵佐野常民殿
進步一等銅牌受領

製産物品評會
總裁從三位勳三等內海忠勝殿
有功銅牌受領

國益縱覽會
有功金牌受領

第二回東海實業區五縣聯合五二會品評會
總裁從二位勳一等伯爵佐野常民殿
功勞銅牌受領

登錄商標

御求之節此商標ニ御注意ヲ願フ

商號記

金七拾五錢

金七拾八錢

製造販賣所
ねづみや
大阪平野町心齋橋東ヘ入北側
眞野平二郎

三重縣度會郡

製造用印證

明治二十年　月　日

郡

茶業組合

壽榮堂

筆墨問屋

福永老舗

兵庫縣有馬温泉場

文政名物

智恵のもち

天橋の泥

對橋樓

君乃友

君乃友

日本純良紙巻煙草

東京 發賣元

岩山商店

商標　登錄

日の出貳拾本入代金五錢

天狗煙草製造元

岩谷商會謹製

東京市銀座三丁目

日乃出

日乃出

日乃出

三重縣度會郡

製造用印證

明治二十年　月　日

郡

茶業組合

筆墨問屋

壽榮堂

福永

兵庫

京市日本橋區小網町壹

小澤芳兵衛製

文球名物

智恵のもち

天橋の涯

對橋樓

君乃友

君乃友

日本純良紙巻煙草

發賣元 東京

岩山商店

登録 商標

日の出貳拾本入代金五錢

天狗煙草製造元

岩谷商會謹製

東京市銀座三丁目

日乃出

日乃出

日乃出

凡そ饑饉を救濟するには爪哇薯の播殖を普及せしむるより適切至近の法なかるべきを信す偶先年東北の饑饉に當り普神田縣令の玆に着眼せられたる大恩惠を思ひ合せ青森縣外十數縣に薯種若干を献納し之れが栽培補食の概要を述へ尚數へ歌をものして印刷となし全國府縣及第五回博覽會場等にても配布し置きしが今や軍國多事の際益々糧食の必用なるを感ずると同時に愈々奮つて爪哇薯の播殖補食の必用を計らんと左の唱歌体にものして江湖人士の同情を求むになん

○附記 從來爪哇薯を馬鈴薯と稱せしが第五回博覽會褒狀により爪哇薯に改む

明治卅七年春三月

神戸市奥平野村
村田平左衛門謹てしるす

今や時局が破裂して
外には忠義の軍人が
内には愛國人みんが
この時農家の人達は
星をいたゞき耕して
薯で饑饉を救ひたる
昔を今にくらぶれば
これを摸範に農民よ
全國普ねく作る日は
輸出で四海を壓倒し
されば共同一致して
三度の食事も幾分か
日に日に延る其米を
國庫は豐かに充滿し
玉散るなかの軍人も
鳴呼我くにの同胞よ
前途の名譽は云も更
荒鷲退治も易からん

干戈を交る日となれり
海にも陸にも奮戰し
競ふて軍資を献上す
五穀を作りし其上に
爪哇薯栽培努めかし
愛る蘭土や普魯士の
名におふ世界の富强國
いざ薯作れいざ作れ
輸入の麥米跡を絶ち
富强の實や擧るらん
節約まもるその中に
薯で補ひ足すがよい
計へて見れば數萬石
戰備も優に整ひて
後顧の患ひ無るべし
此精神をつらぬかば
實に目前に仇なせる
東洋平和も近からん

（非賣品）

水野活版製造所印行

乾蒸餅　稟告

滋養菓子
一 乾蒸餅
洋名 ビスケット
一 最上
カステイラ
一 新製各酒入
ボンく
一 ケンデイ
一 祝日用御飾菓子
プロムケイキ
一 ミンツパイ
其他御好ニ應シ調製仕候

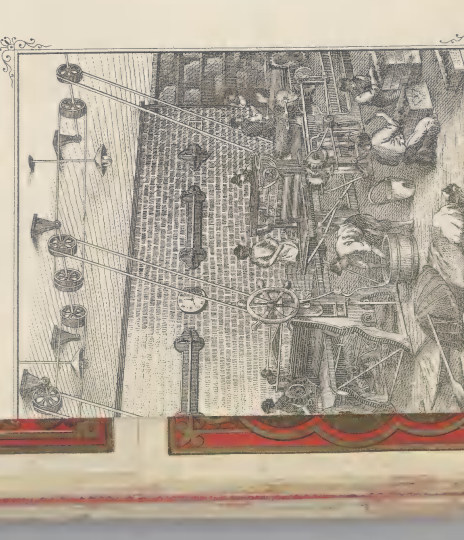
西洋ニテ滋養第一ト稱スル「ビスケット」ハ其味甘美淸爽淡泊ノ雅品ニシテ花晨月夕飯後茶前特ニ珈琲ヲ喫セントスルトキハ必ラス欠ク可カラサル良菓ナリ加之善ク脾ヲ調シ胃ヲ補ヒ愛子愛孫ノ食用ニハ他ノ食物ヲ調和スルノ功アリ隨テ過食モ害ナク實ニ洋人常食ノ珍ト爲スユエンナリ

カステイラハ往時蘭人ノ遺法ニ始マリテ本鋪ノ經驗ニ成リ其味甘キニ怩マス淡キニ失セス灑々落々澹泊ナルノ雅趣ハ彼ノ陶家黄金ノ花色ニ似タルハ菓中ノ隱君子トモ謂ンカ茗醼ニ興味ヲ賛シ酒後ニ餘韻ヲ傳フ實ニ江湖鍾愛一日モ怠タラサルユエンナリ

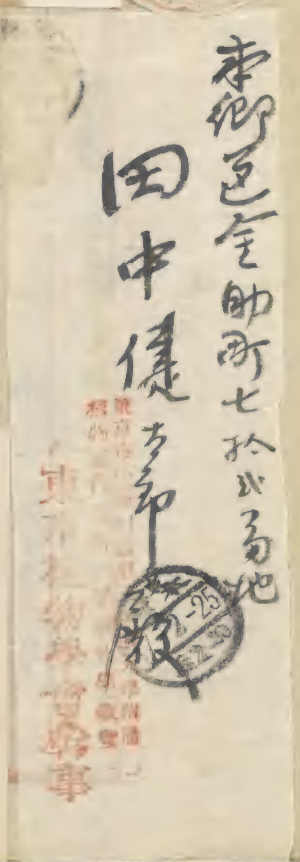
ボンくハ西洋菓品製造中ノ最モ難シトスル所ナリ何トナレハ糖ノ房凝固ノ中ニ流動質ノ飲物ヲ含藏セシムルモノニシテ殆ント天造モ及ハサル作用ヲ人造ニテ製出スレハナリ而シテ本鋪辛苦良製ノ結果ヲ得タルハ夙ニ江湖ノ喝采ヲ博シタリ高談會罷ムノ時讀書氣倦ムノ後一喫能ク心目ヲシテ豁如タラシメ又妙ニ酒渇ヲ療スルノ快アリテ實ニ珍菓中ノ精品ト謂フ可シ

抑モ西洋菓子ヲ本邦ニ於テ創製セシハ本鋪コレカ鼻祖ニシテ厥ノ初ノ洋食ノ方サニ世ニ行ハルヽヨリ玆ニ感アリテ該精製ノ工夫ヲ發企シ洽ネク内外人ノ需用ニ供セシヨリ大ニ時好ニ適シ遂ニ明治十年内國勸業博覽會ニ出品シテ鳳紋賞牌ヲ賜ハル同ク十四年博覽會ニ於テハ有功一等賞牌ヲ賜ハリ特ニビスケートハ進歩二等賞牌ヲ賜ハリ

CONFECTIONER
SANCHOME KOBE



東京日本橋通三丁目

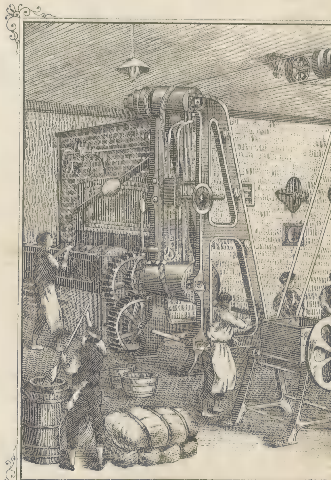


電話番號

七百五十八番	風月堂 米津支店	神戸市元町通三丁目	吉川市三
浪花五百十八番	風月堂 米津本店	東京市日本橋區若松町	米津松造
本局六百。八番	風月堂 米津分店	同 京橋區南鍋町	米津恒次郎
横濱二百。八番	風月堂 米津分店	横濱市常盤町	米津武三郎
本局千百八十八番	風月堂 米津支店	東京市神田區淡路町	穂積峰三郎
本局千。三十六番	風月堂 米津支店	同 麻布區飯倉四丁目	七澤康太郎
本局八百。九番	風月堂 米津支店	同 神田區今川小路二丁目	伊東直吉
横濱二百三十一番	風月堂 米津支店	横濱市本町六丁目	原田千太郎
東五百九十二番	風月堂 米津支店	大坂市高麗橋通三丁目	塩谷五郎

FUGETSUDO
MOTOMACHI S

就中ボンくハ最モ本舗ノ焦思苦慮シテ効ヲ奏セシモノナリ此ク再度ノ賞牌ヲ賜ハルノミナラス既ニ支鋪ヲ數所ニ開クニ至リシハ全ク江湖諸君ノ奬勵愛顧ニヨリ開進ノ結果ヲ得シモノナレハ玆ニ鳴謝ノ意ヲ表セン為メ一層廉價ニ販賣シ廣ク御好ニ應シ調進セント欲ス尚クハ舊ニ倍シ愛顧ノ益々深カランコトヲ



本郷区金助町七[illegible]番地
田中[illegible]殿

電話番號

七百五十八番 風月堂 米津支店 神戸市元町通三丁目 吉川市三

浪花五百十八番 風月堂 米津本店 東京市日本橋區若松町 米津松造

本局六百。八番 風月堂 米津分店 同 京橋區南鍋町 米津恒次郎

横濱二百。八番 風月堂 米津分店 横濱市常盤町 米津武三郎

本局千百八十八番 風月堂 米津支店 東京市神田區淡路町 穂積峰三郎

本局千。三十六番 風月堂 米津支店 同 麻布區飯倉四丁目 七澤康太郎

本局八百。九番 風月堂 米津支店 同 神田區今川小路二丁目 伊東直吉

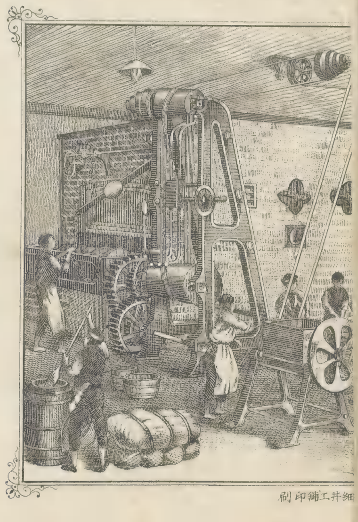
横濱二百三十一番 風月堂 米津支店 横濱市本町六丁目 原田千太郎

東五百九十二番 風月堂 米津支店 大坂市高麗橋通三丁目 塩谷五郎

FUGETSUDO

MOTOMACHI

就中ボンくハ最モ本舗ノ焦思苦慮シテ効ヲ奏セシモノナリ此ク再度ノ賞牌ヲ賜ハルノミナラス既ニ支鋪ヲ數所ニ開クニ至リシハ全ク江湖諸君ノ奬勵愛顧ニヨリ開進ノ結果ヲ得シモノナレハ茲ニ鳴謝ノ意ヲ表セン為メ一層廉價ニ販賣シ廣ク御好ニ應シ調進セント欲ス尚クハ舊ニ倍シ愛顧ノ益々深カランコトヲ



美術
新意匠

染物再整悉皆開業廣告

私は京都市で美術新意匠染物悉皆業を多年實地練習の上開業に從事し充分斯業の研究を積みましたが今回當地花主諸君のお勸めに隨ひ歸郷の上開業致し外に付何分御贔負御引立の程を願ひ上げ升就ては曾て第五回内國勸業博覽會にて私が新意匠を以て調製致しました友禪縮緬に一等賞を授與せられたる而巳ならず特に宮内省御買上けの榮を賜りたる事歴も有り升ことに故殊更に誇張の言は喋々致しませぬが左に記載致しましたる染物種目の外御誂へ向悉皆新調の品は勿論如何なる着古しの品にても絹布木綿類に拘はらず毫も地質を損ぜぬ保險附新工夫にて改良抜きの上更に新按模様柄御好み次第に染め上げ一見眼の覺むる如く美麗に再製致し升尤染賃は低廉を旨とし御徳用經濟向専一に注意勉強致し升依て多少に限らず又地打の新古を撰まず御用命の程伏して願ひ奉り升

染物種目概畧

美術新意匠ユウゼンゾメ● サラサ● モンツキ● コモン● イロヌキ● ウスイロゾメ● クロゾメ● リウキユウ● モスリンゾメ● チウガタ● シマゾメ● フクサ● カタウラ● ナガシエバン● シエバンソデ● エリ● オビアゲ● スソヨケ● シユミヌトシ● ジヨウダイ● メヒキ● ユカタ● ハツピ● ノボリ● マク● ノレン● フロシキ● テヌグヒ●

其他御誂向御好次第

宇治山田町大字浦口町

京染司　京屋　**坂上条吉**

内國通運株式會社受取證

新橋支店

良燧社製造

美術
新意匠 染物再整悉皆開業廣告

私は京都市で美術新意匠染物悉皆業として多年實地經驗の上開業に從事し充分
斯業の研究を積みましたが今回當地花主諸君のお勸めに隨ひ歸鄉の上開業致
し外に付何分御
會にて私が新意
而已ならず特に
孜の言は喋々致
新調の品は勿論
損かぬ保險附新
一見眼の覺むる
一に注意鄭重致
として謹び奉り升

美術新意匠 ユウゼ…
ロヌキ・…
モスリン…
ラ・ナガジ…
スソヨケ・…
カタ・ハッ…
テヌグヒ・…
其他御…
京

運送契約事項

本會社營業規則第壹章及ヒ第貳章ノ各條項ニ依リ運送ヲ為スコトヲ約定ス

營業規則摘要

一、品種ヲ明示セサル運送品ニ對スル損害賠償ノ程度ハ量目壹貫目迄ノ價額貳圓壹貫目以上五拾目迄每價額拾錢ノ割合ヲ超エヘカラサルモノトス

二、貨幣其他高價物ニ付テハ其種類及ヒ價額ヲ明告シ本會社カ定メタル特別運賃ヲ支拂フニアラサレハ賠償ノ責ニ任セス

三、强盜兵亂暴動ノ變其他不可抗力ヨリ生スル喪失毀損ノ損害ニ付テハ本會社其責ニ任セス

四、本會社ニ於テ引受ケタル運送品カ運送保險ニ付セラレタルトキハ其保險契約カ運送請負ノ前後ニ拘ハラス保險契約ノ擔保スル範圍內ニ於テハ本會社ハ總テ責任ヲ負擔セサルモノトス

五、總テ荷送人ノ過失運送品ノ性質荷造不完全ヨリ生スル損害ハ本會社其責ニ任セス

六、陶器、硝子、其他脆弱ナル物品、及火藥、爆發藥、硝石、硫黃ノ類、燃燒性ノ藥品、桐油類、油脂、藥液、水類、酒類、又ハ孵化スヘキ物品、汚濡腐敗シ易キ物品、動物植物等總テ別段ノ注意ヲ要スヘキモノハ特ニ充分ノ荷造手當ヲ爲シ差出シ且ツ其品種ヲ詳細ニ明示スヘシ若シ其手續ヲ爲サヽルニ因リ運送取扱中毀損其他ノ事故ヲ生スルモ本會社ハ其責ニ任セサルノミナラス若シ他ニ損害ヲ及ホシタルトキハ荷送人其責ニ任スヘシ

七、運送品外面ニ異狀ナキトキハ內部物品ノ相違過不足其他ノ事故及ヒ乾燥又ハ運送中自然ニ生シタル漏脫若シクハ減量ニ付テハ本會社其責ヲ負ハス

八、荷送人ノ封緘シタル運送品濡霑等ニ罹リ又ハ其他ノ事故ニ遭遇セシ爲メ物品保全上又ハ取調上必要ヲ生スルトキ本會社ハ立會人ヲ置キ開緘スヘシ

九、本會社ニ於テ運送人又ハ運送取扱人ノ選擇及ヒ運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシトキハ運送品ノ喪失毀損又ハ運延ニ付責任ヲ負フコトナシ

十、運送方法ヲ指定セラレタル運送品ニ付テハ其指定ニ係ル者ニ引渡後ノ責務ニ付テハ本會社ハ關與セサルモノトス又本會社カ運送ヲ爲スモノト雖荷送人荷受人又ハ其代理人カ護送シタルトキ亦同シ

十一、運送取扱中運送品ノ腐敗又ハ之ヲ保全スル能ハスト認メタルトキハ荷送人又ハ荷受人ノ利益ノ爲メ相當ノ手續ヲ以テ賣却スルコトアルヘシ

十二、道路破損又ハ尋常ノ狀況ト異リ運送ニ支障ヲ生スルトキハ其實況ニ依リ相當ノ增運賃ヲ受取ルヘシ

十三、荷受人二名以上ニ宛タルモノハ其內一名ヘ引渡シ其受領證ヲ受取ルヲ以テ義務ヲ履行シタルモノトス

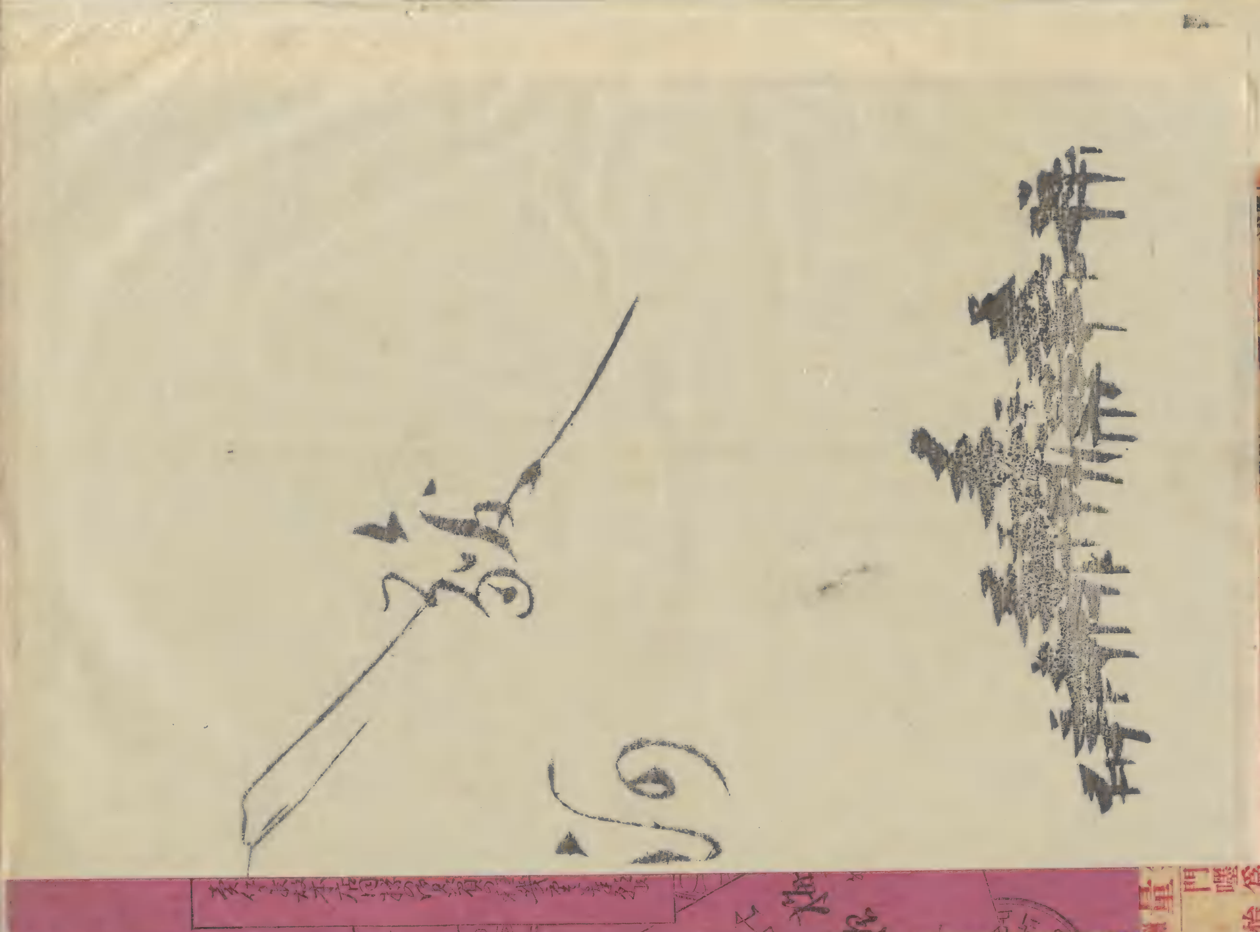
十四、政府事業其他特殊ノ法律又ハ規則ニ據リ運送責務ヲ特定セラレタル運送人ニ運送品ヲ引渡シタル後其取扱中ニ生シタル事故ニ付テハ本會社ハ其法律又ハ規則ニ準シテ責任ヲ負フモノトス

十五、運送品ノ返送ヲ爲ストキハ物品ノ種類ニ依リ本會社ノ見込ヲ以テ一切ノ償權及ヒ返送ニ要スル費用前拂ニアラサレハ之レカ請求ニ應セサルヘシ

十六、荷送人又ハ荷受人ノ委託ニ依リ運送品ヲ預リ置クコトアルヘシ此場合ニ於テハ其品種ニ從ヒ相當ノ倉敷料又ハ保管料ヲ受取ルヘシ

但シ日數ハ二十日以內ヲ限リトス

十七、未着取調ハ引渡最終期ヨリ一ケ年以內タルヘシ



上嘜各製監行
為素所年歷多
日近鑒洞所商
嘜門龍造另特
枝拾九盒每柴
且用適爲尤良
適眞其極貨廉
蒙如比可貨之
龍行洋和怡認
悞至不庶記爲嘜門
識謹行洋和怡

弊店義日本月に隆盛な都る内國勧業博覧会及び共府縣博覧会其他品評会等に於て有功三等賞金牌弐ツ有功賞銀牌又は賞牌褒状等を数多く授与せられたるは実に弊店の名誉之れに如くものなし之れ偏に江湖諸君の御愛顧に依るものと深く感謝し益々一層勉励し原料の精撰に撰得の製法を以て広く販売仕り間旧に倍し御贔屓あらんことを偏に希ふ

煉羊羹は全國至る處の菓子屋に於て製造販賣するものなれども独り弊店製造の煉羊羹の普く天下に賞賛を受け御愛顧を蒙むるは大いに故なきに非らず煉羊羹の元祖として其味の善美且つ長く月日を経過するも其味の変ずることなく至極衛生上に宜しきを以て故全國煉羊羹中最高等の賞牌を賜はり実に弊店の名誉あり依て本家直製の品を広く販売仕り度且つ御便宜を計り當時特別支店に於て本家直製の左の品を販売仕り候故本店同様の御贔屓の程希ふ

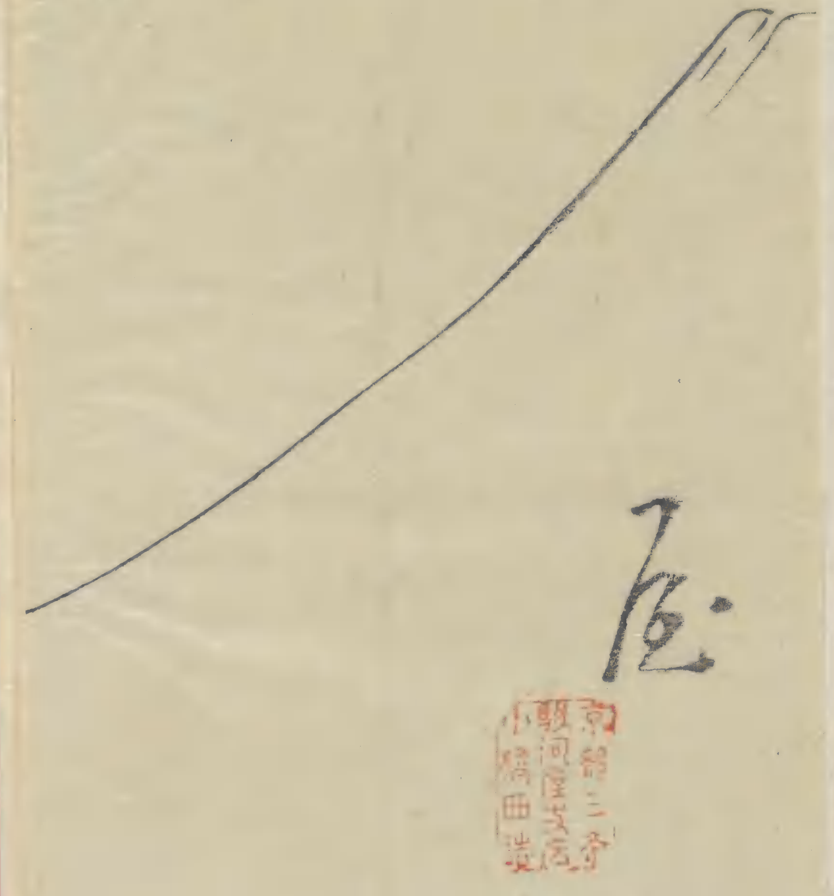
山城伏見京町三丁目
総本家 駿河屋

京都三條通小橋西入
特別支店 駿河屋

敬惜字紙功德無量

啓者本行監製各嘜上等火柴多歷年所素爲各埠巨商所洞鑒近日精益求精另造龍門嘜中枝火柴每盒九拾枝品質精良尤爲適用且價極其廉貨極其眞適非尋常之貨可比如蒙賜顧請認怡和洋行龍門嘜爲記庶不至悞

怡和洋行謹識



第五回內國勸業博覽會
壹等賞牌

煉羊羹

登録商標

京都府下伏見京町三町目
開業四百有餘年
總本家駿河屋製
和歌山縣和歌山駿河町
本店駿河屋

出店
大阪淡路町二町目 駿河屋
京都六角富小路 駿河屋
堺甲斐町 駿河屋
大阪堺筋安堂寺町北 駿河屋
伏見京橋 駿河屋
和歌山市本町三町目 駿河屋
大阪高麗橋南詰一丁半南 駿河屋
南都光明院町 駿河屋
尾張名古屋本町二丁目 駿河屋

京都市三條通小橋西入
總本家駿河屋出張店

本鷹皮製
江戸川製半切五拾枚綴
定價金貳拾錢

煉羊羹
鑵詰羊羹

切手券引替所
總本家 駿河屋 山城伏見京町三丁目
本店 駿河屋 紀伊和歌山駿河町
出店 駿河屋 大阪淡路町二丁目
同 駿河屋 京都六角富小路
同 駿河屋 泉州堺甲斐町
同 駿河屋 大阪堺筋安堂寺町
同 駿河屋 伏見京橋下津拭
同 駿河屋 東都光明院町
同 駿河屋 大阪河原地東門前
同 駿河屋 大阪高麗橋
同 駿河屋 尾張名古屋本町八丁目

敬惜字紙功德無量

啓者本行監製各嘜上等火柴多歴年所素爲各埠巨商所洞鑒近日精益求精另造龍門嘜中枝火柴每盒九拾枝品質精良尤爲適用且價極其廉貨極其眞廼非尋常之貨可比如蒙賜顧請認怡和洋行龍門嘜爲記庶不至悞

怡和洋行謹識

領収証

No. 1167

一金二拾円[illegible]

右金額慥して御支拂
被成下難有正ニ請取候也

明治三十七年五月十一日

大阪梅田停車場前
旅館及乗客待合所
瓢 延 家

電話東千三十五番

田中様

領収証

No. 1707

一金二円

右金額慥して御支拂
被成下難有正ニ請取候也

明治三十七年五月十一日

大阪梅田停車場前
旅館及乗客待合所
瓢 延 家

電話東千三十五番

田中様

御箸

旭館

南京虫●油虫●蚤退治 特許専売 撒布器

登録商標

撒布器 定價 金参拾銭 金四拾銭

注意 南京むしと文字のなき商標はにせ物なり

専売特許 退治薬 定價

大鑵入 金弐圓 中鑵入 金壹圓
小鑵入 金五拾銭 金弐拾銭 金拾銭
撒布袋入 金五銭 金参銭

●南京虫油虫退治薬製剤 陸軍及諸官省病院御用達所

大阪船越町弐丁目

浪花の梅本舗 合名会社 松本金時堂

（電話東三千五百十六番）

次所ハ全國有名ナル賣藥店ニ販賣セリ

一御自宅ニテ悪虫退治サレザル時ハ會社

御相談有レバ直ニ社員出張シテ退治ス

官許 外用売薬

諸の油虫 南京虫

製剤元 松本金時堂

電話東三五一六番

定價 金拾銭

發賣所 松本合名會社

輸入支那麻ノ苧麻
漂白品

静岡縣賀茂郡稻生澤村
カラムシ
ラミー製造技師
大社德太郎

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物區別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量
田中芳男	丹後國 … 別莊		七月 日	號	十			二 文

日附印	引受主任印	摘
37		

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物區別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量
田中芳男			七月 日	二七 號	十			

日附印	引受主任印	摘

書留郵便物受領證

受取人宿所氏名	差出人宿所氏名	番號	種類
丹後 … 社	田中芳男	七	

受領證印	取扱者印	摘要

書留郵便物受領證

受取人宿所氏名	差出人宿所氏名	番號	種類
丹後 … 社	田中芳男	七七	

受領證印	取扱者印	摘要

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物區別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
[illegible] 田中芳男	丹後 [illegible]	[illegible]	[illegible] 七日	[illegible] 號	[illegible]	/		[illegible] 匁	[illegible]

摘要	日附印	引受主任印

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すへし

郵便物受領證

差出人宿所氏名	受取人宿所氏名	郵便物區別	引受月日	引受番號	郵便料	表記金額	表記料	重量	配達局名
[illegible] 田中芳男	[illegible]	[illegible]	[illegible] 月 [illegible] 日	[illegible] 號	[illegible]	/		[illegible] 匁	[illegible]

摘要	日附印	引受主任印

此の受領證は郵便物の還付を受るとき又は損害賠償の請求をなすとき等に於て必要なるに付大切に保存すへし

書留郵便物受領證

受取人宿所氏名	差出人宿所氏名	番號	種類
丹後 [illegible]	田中芳男	[illegible]	[illegible]

摘要

取扱者印 受領證印

書留郵便物受領證

受取人宿所氏名	差出人宿所氏名	番號	種類
丹後 [illegible]	田中芳男	[illegible]	[illegible]

摘要

取扱者印 受領證印

領収証

No. 1163

一金二拾四円参

右金額 正ニ領収して御支払被成下難有正ニ請取候也

明治三十七年五月十一日

大阪梅田停車場前
旅館及乗客待合所
瓢 箪 家
電話東千三十五番

田中 様

領収証

No. 1707

一金二円

右金額 正ニ領収して御支払被成下難有正ニ請取候也

明治三十七年五月十一日

大阪梅田停車場前
旅館及乗客待合所
瓢 箪 家
電話東千三十五番

田中 様

南京虫●油虫●蚤退治 専売特許 撒布器

登録商標

撒布器 定価 金四拾銭 ―― 金参拾銭

注意 南京むしと文字のなき商標はにせ物なり

専売特許 退治薬 定価
大罐入 金弐円 中罐入 金壹円
小罐入 金五拾銭 金弐拾銭 金拾銭
撒布袋入 金五銭 金参銭

●南京虫・油虫退治薬製剤所
陸軍及諸官省病院御用達

大阪船越町弐丁目
浪花の元祖本舗 合名会社 松本金時堂
(電話東二千五百十六番)

◎取次所ハ全国有名ナル売薬店ニ販売セリ
万一御自宅ニテ悪虫退治サレザル時ハ会社ヘ御相談有レバ直ニ社員出張シテ退治ス

滋養食料 もちそうめん

◉發賣の趣意

抑も此もちそうめんの義ハ弊店々主永年外國に於て辛苦艱難の末其製法の秘密をさぐり更に原料を精選して我國人士の食用に供せんと深く製造に意を用ゐ尚滋養品の二三を加て爰に初めて餅素麺と命名して今回廣く發賣するの榮を得たり

◉本品特色の大略

一 餅素麺ハ前述の如く原料を滋養品のみを撰擇したるを以て胃弱なる我國人士の常食にハ尤も適當の食品なり

二 餅素麺ハ從前のそうめん又ハうどんと根本的性質を異にしたるを以て其風味も又今日の論にあらず

三 餅素麺ハ其丈けの長さ三寸と六寸有余まして其色白きこと雪の如く恰も白瀑を見るが如し依て遠送物用にハ尤も適當なり

四 餅素麺ハ他の麺類と異なり実益軽便にして如何程煮過るも少しも砕ける憂なく少しも上其洗ふ必要もなく其儘直ちに召上られ升

食用の弁まで先づ
・きちかけ・あんかけ
・すみそ・からしみそ
・すきやき・ふつけ
・にうめん・とろかけ
・つくりのけん
すわ別て風味宜し

◉食用法

滋養第一の此の餅素麺を食用するにハ先づ煮湯に入れ上げ程ゆでれば出来上り升又ゆでて上げ置くも一週間位ハ風味少しもかはることなし

●本品百目をゆで上ぐれバ六百目に殖えるを以て普通の素麺より余程安價となる
●各地に一手販賣又ハ賣捌店あり
●御遠國よりの注文ハ小包郵便にて直ちに逓送致升

製造發賣元 商標 和登商
大阪南區二ツ井戸松屋町東入ル

賀

茶組合

拾端入

滋養食料
もちそうめん

◎發賣の趣意

抑もちそうめんの義ハ弊店々主永年外國に於て辛苦艱難の末漸く其製法の秘密をさぐり良き原料を精選して我國人士の食用に適する様深く製造に意を用ゐ尚滋養品の二三を加て爰に初めて餅素麺と命名して今回廣く發賣するの栄を得たり

◎本品特色の大略

一 餅素麺ハ前述の如く原料を滋養品のみにて製したる故以て胃弱なる我國人士の常食となすも適當の食品なり

二 餅素麺ハ從前のそうめん又ハうどんと根本的性質を異にしたるを以て其風味も又各自の論をまたず

三 餅素麺ハ其丈けの長きこと六尺有余にして其白きこと雪の如く恰も白瀑を見るが如し依て応接用にも最も適當なり

四 餅素麺ハ他の麺類と異なり実益軽便にして如何程煮過るも少しも砕ける憂なく必ず上ぐべき必要もなく其侭直ちに召上られ升

◎食用法

滋養食第一の此の餅素麺を食用するにハ先づ煮湯に入れ十五六回程ゆでれバ出来上り升又ゆで上げ置ても一週間位ハ風味少しも變る事なし

● 本品百目たゞゆで上ぐれバ六百目に殖えるを以て普通の素麺より余程安價となる

● 各地に一手販賣又ハ賣捌店あり

● 御遠國よりの御注文ハ小包郵便にて直ちに逓送致升

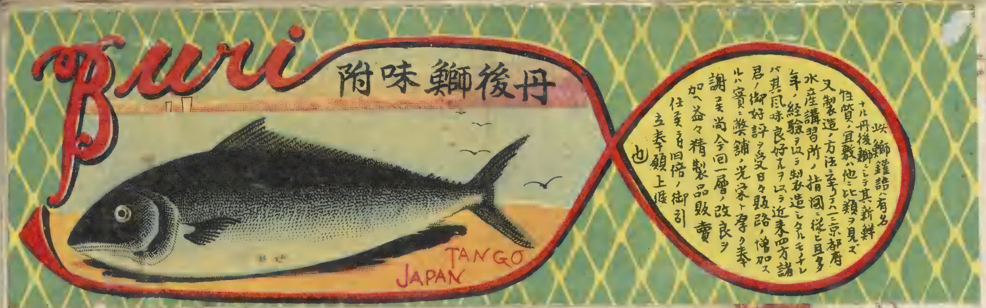
製造發賣元 商標 和登商店

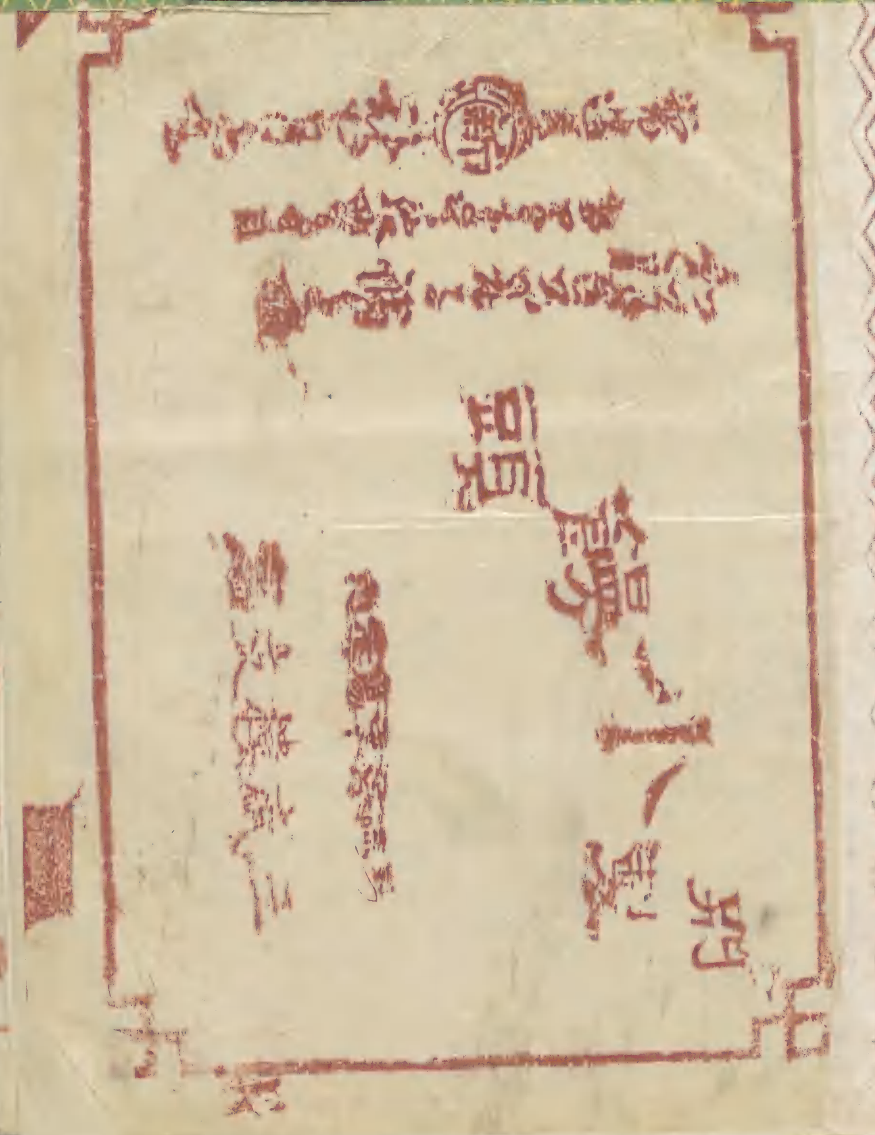
大阪南區二ツ井戸松屋町東入ル

賀 まゆ立

大組合

拾端入


Buri
丹後鰤味附
此鰤鑵詰ハ有名
ナル丹後鰤ニシテ其新鮮
性質ハ宜敷ハ他ニ比類ヲ見ズ
又製造ノ方法ニ至リテハ一ニ京都府
水産講習所ノ指図ニ従ヒ且多
年ノ経験ヲ以テ製造ニ係ルモノナレ
バ其風味良好ナルヲ以テ近来四方諸
君ノ御好評ヲ受日々販路ノ増加ス
ルハ實ニ弊舗ノ光栄ト存シ奉
謂ヘ尚今回一層ノ改良ヲ
加ヘ益々精製品販売
仕候間旧倍ノ御引
立奉願上候
也
TANGO
JAPAN



農商務省農事試驗場畿内支場
大阪府南河内郡柏原村

廣告

上等辨當 代價金廿五錢
通常辨當 代價金拾五錢

鰻蒲燒 代價金拾錢
○天津名物 志〻餅

拝呈

馬場 停車場 構内

萩の家

滋養食料
もちそうめん

◎發賣の趣意

抑〻此もちそうめんの義ハ弊店〻主永年外國に於て辛苦艱難の末漸く其製法の秘蜜をさぐり更に原料を精選して我國人士の食用に適する様深く製造に意を用ゐ尚滋養品の二三を加て最も務めて餅素麺と命名して今回廣く發賣するの祭を得たり

◎本品特色の大略

一 餅素麺ハ前述の如く原料を滋養品のみにて製したるを以て胃弱なる我國人士の常食にも尤も適當の食品なり

二 餅素麺ハ従前のそうめん又ハうどんと根本的性質を異にしたるを以て其風味も又全旨の論ハなし

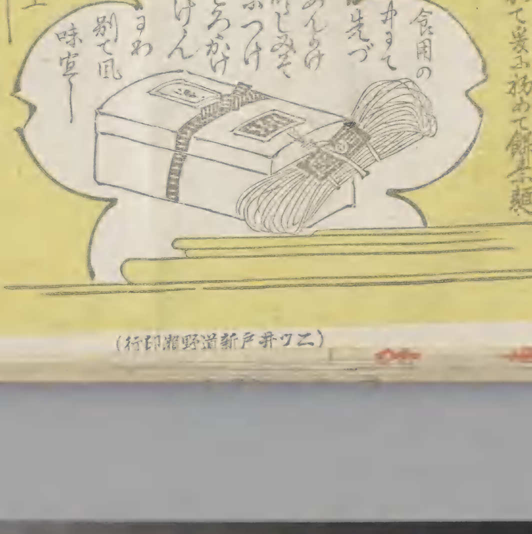
三 餅素麺ハ其丈けの長きこと六尺有余にして其白きこと恰も雪の如く恰も白瀑を見るが如し依て贈答用にも尤も適當なり

四 餅素麺ハ他の麺類と異なり實益軽便にして如何程煮込むも少しも砕ける憂なくゆで上げ洗ふ必要もなく其侭直ちに召上られ升

◎食用法

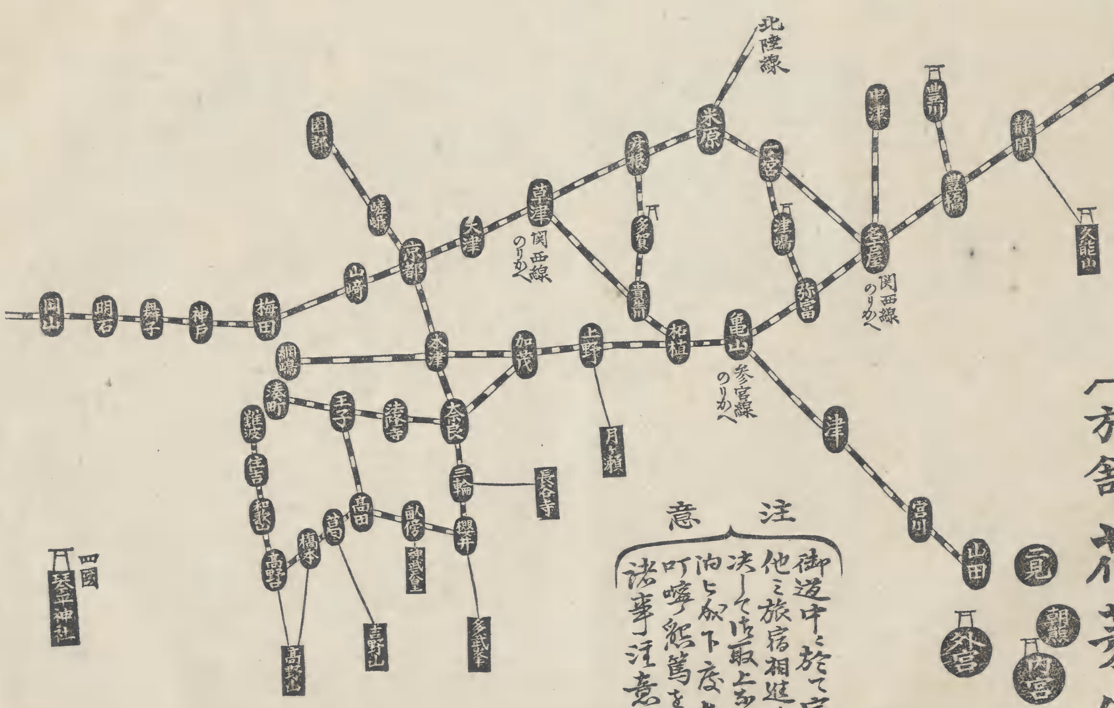
滋養第一の此の餅素麺を食用するには先づ煮湯に入れ十五分間程ゆでれば出来上り升又ゆで上げ置きても一週間位は風味少しも変る事なし

●本品百目をゆで上ぐれば六百目に殖えるを以て普通の素麺より余程安價とす
●各地に一手販賣又ハ賣捌店あり
●御遠國よりの御注文ハ小包郵便にて直ちに御送達致升



製造發賣元
商標
和登商店
大阪南區二ツ井戸松屋町東へ入ル

（二ツ井戸新道野組印行）



伊勢山田外宮前
旅館 花菱館

注意

御道中ニ於て宿引等
他ニ旅宿相進め候とも
決して御取上なく御来
泊被下度本館ハ
叮嚀懇篤をむねとし
諸事注意可仕候

春子
推葉
木乾

山茶花乾

是ハ茶子苗ノ根切虫ノ害ヲ
喰フヲ防グ為メ苗ノ辺ヘ撒布スベシ

多摩郡田吉村ノ太田小三郎氏ヨリ郷之
三代おく人大阪府河内ノ
三十七年四月十七日 [illegible]
明治三十七年四月五日 [illegible]
アスペルジ　アチーフ　ア　アンジェ　ニチらん

タチバナ　[illegible] 柚柑ハ

鳥ノ日　アラチバニ ハ 外国ノ [illegible]

[illegible]

拝復 本日陽の候に [illegible] 所為 [illegible] 勇健に [illegible]
家 [illegible]
影様 [illegible] 五百本 [illegible] 木 [illegible] 深く [illegible]
候て [illegible] 件 [illegible]
一 赤白両色共種類同 [illegible]
一 採種 [illegible] 三十六年六月 [illegible]
一 産地ハ [illegible] 川崎 [illegible] 小向
一 種類ハ白 [illegible] 貝（ならか）
三十七年四月 [illegible]

（梅 [illegible]）

北中村
雨田林藏
（アマタ）
倭町
世古口

西谷水室ノ [illegible]
人世古口 [illegible] 持主
[illegible]

農具麥摺機械改良廣告
國益名譽賞
本器ハ麥穂ヨリ麥粒ニス
本器ヲ用ユレバ一日參拾石
定價金九圓參拾錢◎拾五
出征軍人家族御注文ノ際ハ區長ノ

外宮神 [illegible]
薑 [illegible] 梅 [illegible]

蟬風（セミバコ）
但光 [illegible] 大ナリ

伊勢山田 [illegible]
三十七年 [illegible]
[illegible] 十九日

凍 [illegible]

無瓦
積州縣
九、十 十四 藤 [illegible]
多賀郡門 [illegible]
本孫四郎
可

三十七年四月五日
二月

田中様
[illegible]

右正ニ受取候也

三十七年五月十八日 [illegible]
山ミカン
蚊田草
イヌフグリ之類 [illegible]
実ハ [illegible] 出ノ [illegible]

イハチレハ又イハナ
苦苣苔 又イハタバコ
深山ノ岩壁ニ生ス [illegible] 一種特別ノ [illegible]
[illegible]

一 拾 [illegible]
一 拾 [illegible]
一 七 [illegible]
一 白 [illegible]
十二 [illegible]

右正ニ受取候也
明治三十七年
五月十七日
上 [illegible]

春子
推茸
木乾

山茶花乾

是ハ春子茵ノ根切虫ノ害ヲ喰フヲ防クモ　ニテ茵ノ辺ヘ撒布スベし

伊勢山田古市ノ太田小三郎氏御ニ之　タチバナ　ハ柚柑ヘ
三代おく人大阪陳列所ニ之　捐ノ社ヲ備フ篤志ノ人者ノ由
三十七年四月廿　年中行事ノ種子共ニ助ノ事ニ撥米ヲ入ル

明治三十七年四月五日　於農園ヲ貰フ　カミウドモ　マメウド
アスペルじ　アチーフ　ア　アんじエンチうん

日島氏日　アラチバハ之種ハ外皮ヲ去ル府

拝復本日陽の候にも尚所益々御勇健にと□□國家ノ為ニ□□□□候□□松植種痘□□致し□影様恙無五月中旬ホ候仕候得深く□□御禮申上候て□□照会の件左に申上候

一 赤白両色共種類同しきものに候
一 採種漬浸せしは三十六年六月下旬
一 産地ハ神奈川県橘樹郡川崎在小向村（明治十七年陛下の行幸あらせられし所）
一 種類は白加賀（杢ろかご）

三十七年四月七日

（梅屋二京ヨリ□□ノ返事）

右正二受取候也

田中様

三十七年五月六日

金□□□□□□山本□□□□

一三月

三十七年四月五日

無代

撰種□□□□多賀郡門□

九十四番地

藤本孫四郎

凍蒻

イハチシャ　又イハチ
苦苣苔　又イハタバコ

深山ノ岩壁ニ生ズル一種特別ノ草也葉ヲ當薬ナリトシ乾シテ用ユ□□□□□□□□苦苣ニ似タリ

右正二受取候也

明治三十七年五月十一日

上□

七草

三春七草

白□

外宮神苑ニ黄金梅アリ

蟬凧（セミダコ）　但以品ヨリ大アリ

伊勢山田三十七年五月十九日

春子
推葦
木乾

山茶花乾

是ハ茶子苗ノ根切虫ノ害ヲ
防クニ茶苗ノ辺ヘ撒布スベ

伊勢山田古市ノ太田小三郎氏郎ニ之 タチバナ 同柚柑ハ
三代おえ大阪神保乃事之 持ノ枝ヲ接ク荒主人者ノ由
三十七年四月十二日 行キシ 種子ヲ見セ呉ゝ 下シ接木セ入ヲ
明治三十七年四月五日 於農園ニテ 貰ヘ カシウド又 マツバウド 同
アスペルジ アチーフ ア アんジエンチラん

松島氏曰 アヲチバハ種ハ外皮ヲ去テノ府ナ
ガンバ生ゝスト 然ラハ生芝系ノ不生ハ甚ゝシ

伊勢國度會郡宇治山田町
農業館舎ニテ
田中芳男様

神奈川縣橘樹郡川崎町警察前
本農園 主任 高橋倉蔵

右正ニ受取候也

三十七年四月五日
二月

無原
播州
九十四番地
藤本孫四郎
多賀郡門三宅村

凍蒻

イハチシヤ 又 イハナ
苦苣苔 又 イハタバコ

深山ノ岩壁ニ生ズ 一段特別ノ雅味
アリ 当業者ニモ巳如ノ入 貴ブ
園芸家ガラ会ズゴ 高苣ニ似タリ

國益名譽賞受領

農具麥摺機械改良廣告

本器ハ麥穗ヨリ麥粒ニスル機械ナリ
本器ヲ用ユレバ一日參拾石ヲ摺リ得ベシ
定價金九圓參拾錢 ● 拾五ケ年保險附
出征軍人家族御注文ノ際區長ノ證明有レバ五拾錢引

奈良縣山邊郡二階堂村
製造發賣本店森山商會
大阪市南堀江鐵橋南詰角
販賣店 福井商店

ヤミダコ
蟬風 但次品ヨリ大アリ

外宮神苑ニ 黄金梅 アリ

伊勢山田三林寺
三十七年一月十九日

御旅館 志那忠本店

左記之品々此列車中ニ携帶仕居候ニ付御用被仰付度奉願候

行商人 **志那忠**

御辨當 御一人前金二十錢
同 同 金十五錢
たすし 同 金十錢
サンドウヰッチ同 金二十五錢
同 同 金十錢
ハム 鑵詰 金八十五錢
鑵詰 壹個 金八錢
食パン 一斤ニ付 金八錢
バタ 小壜一個 金五錢
ウヰスキー 大壜金一圓七十五錢
ビール（カブト キリン エビス アサヒ）大壜 金廿七錢 小壜 金十六錢
ウヰスキー（平壜入）一壜 金四十五錢
コウザン葡萄 ジンフアンデル 小壜金廿五錢
平野水 ジンジヤエル ラムネ 金十二錢
以上

酒（菊正宗）大壜金卅二錢 中壜金十七錢 小壜金九錢
西洋菓子壜入一壜金十五錢
ビスケット一個 金十五錢
パン 同 金一錢
菓子 關ノ戸 一箱（金十二錢）
松風 同 金五錢
粟おこし 一包（金五錢 金二錢）
くだもの
葉卷 其他 金十二錢
カメオ 一個 金八錢
日乃出 菊世界 同 金五錢
ピンヘッド オールド 同 金四錢
マッチ 金五厘
ハンカチーフ 金七錢
寶丹 清心丹 金十錢

一御買上ゲノ品御滿足ニ適ハザルカ臭氣腐敗等ノ事有之候節ハ他品ト御取替可致候若御重用ニ適ハザレバ代金返戻可申上候
一販賣品及行商係ノ者ニ不行屆之廉有之候節ハ愛知驛前志那忠ヘ御注意可被下候

御旅館 志那忠支店

乙附一號甲

關西鐵道株式會社

小荷物配達表

（471）

明治37年3月15日第201列車

從山田驛 鐵道線到 驛

荷送人住所 氏名又ハ商號 田中芳男

荷受人住所 氏名又ハ商號

荷品造及名	個數	斤量	割合	賃金	增賃金	配達賃	記事
	1	25				10	

明治 年 月 日第201列車到着

明治 年 月 日午 時 分荷受人ニ引渡

（注意）配達賃ハ收入濟ニ付受取人ニ於テ仕拂ハルニ及ハス

着驛貨物掛

記

右之通正ニ受取候也

明治37年1月10日

辻村商店

田中芳男様

昨年ハ貴家ノ楊梅
じやむ汁ニ御恵與ニ預り候々
美味ト共ニ家人相奉存
今般ハ復ビ佳品ニ識シ候
候ま頓首

明治三十七年五月十九日

田中先生侍史　竹亭印

新七

進

度

會津銘品
小野木保三

上
櫻餅
井村為藏

上

茶店及御旅館
大阪梅田ステーシヨン前
ヒサゴノヤ
(電話番號東千〇三十五)

領收証

No.1,044

一金三円八十五銭

右金額也として御支拂
被成下難有正ニ請取候也

明治三十七年三月二十六日

大阪梅田停車場前
南旅館及茶店待合所
瓢延家
電話東千三十五番

(大阪薪倫社印行)

東京市本郷區
金助町七十二番地
田中芳男

會津湘口

領收証

No. 1,044

として御支拂
請取候也

延泉

電話東千三十五番

東京市本鄕區
金助町七十三番地
田中芳男

[illegible]

明治三十四年十二月十六日

[illegible]

進德修業

處仁遷義

七翁東榊 上

淡路三原郡
八木小學校

山口幸三郎

八木尋常小學校

明治三十三年三月九日為八木尋常小學校
居三住田中芳男書

東京市
赤坂區 青山原宿
一八〇
長井行

京都第四回内國勸業博覧会第三部
田中芳男殿
神戸 [illegible]

三浦源助
岐阜市小熊參百九番戸

月山産タケノリ

津市上濱町
橋本清助
出

大日本水産會京都支會幹事
木村傳右衛門
京都市上京区西洞院椹木町下ル

第	一二弐	號
出品主	郡 町村	
品名		
數量		
賣價		

松岡庫太郎

澤野定七

進呈
端書
谷麗國
松五郎

明治廿九年十二月廿一日午前…
東京上野公園内日本美術協會ニ於テ
養蠶圖之形…
神美會事務所

春慶塗…
宇治山田町…
橋本佐兵エ製
（三十二年十月宇治山田町開設三重縣製品品評會出品）

田芳
カタヒラカイ
イタヤガイ

明治三十六年五月九日
…新聞

明治二十三…
三十三年…
伊勢…

…魚類ニテ（カジカ）トナ…
…村…

大國扇
四日市 山口竹枝製
（三十二年十月宇治山田町開設三重縣製品品評會出品）

三十二年一番本
飛出

三十二年一番本
四日市 …
米国…

第拾参號

[illegible]

上等
天瓜粉
半斤

岩手県委員
進呈 加藤章福
鶏大建閣説明書二部
田中芳男様

[illegible]

第貳拾参輯

小田原にて製造
伊勢屋来吉
杉かけ行き

岩手県 会員
進呈 加藤幸福
鮒大建閲説明
田中芳田力様

[illegible]

七升 尺八 尺六 七升ノ尺枚
御戸ノ外国製造ノ本箱ノ外ニ
色々為メノ支那入レヤウ三枚ト定
是ヲ造ナス大阪陽刻
大阪御戸製造[illegible]
[illegible]

上等
天瓜粉
半斤